Business　Survey　Index　　令和 3 年 4-6 月 第 130 回

企業経営者意識調査

令和 3 年 4-6 月の概要　P 1

調査結果

1　経営状況　P 4
2　雇用状況　P 8
3　在庫、価格水準　P 12
4　設備投資の状況　P 14
5　地域別にみる各産業の動向　P 16
6　道内の景況感　P 24
7　業種・地域別企業経営者の声　P 25
8　業況感の長期推移　P 31

特別調査

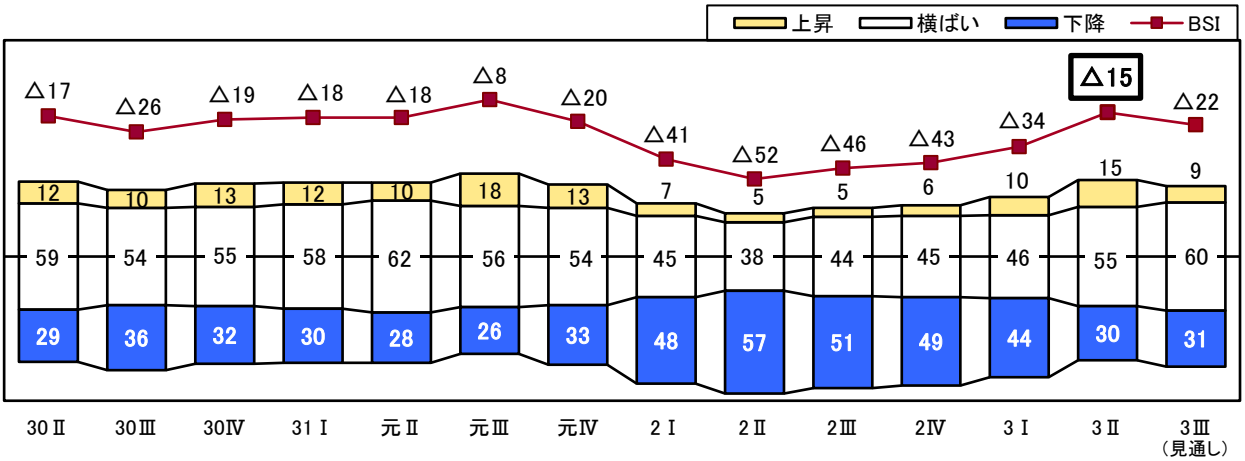
新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について　P 32

調査方法　P 42

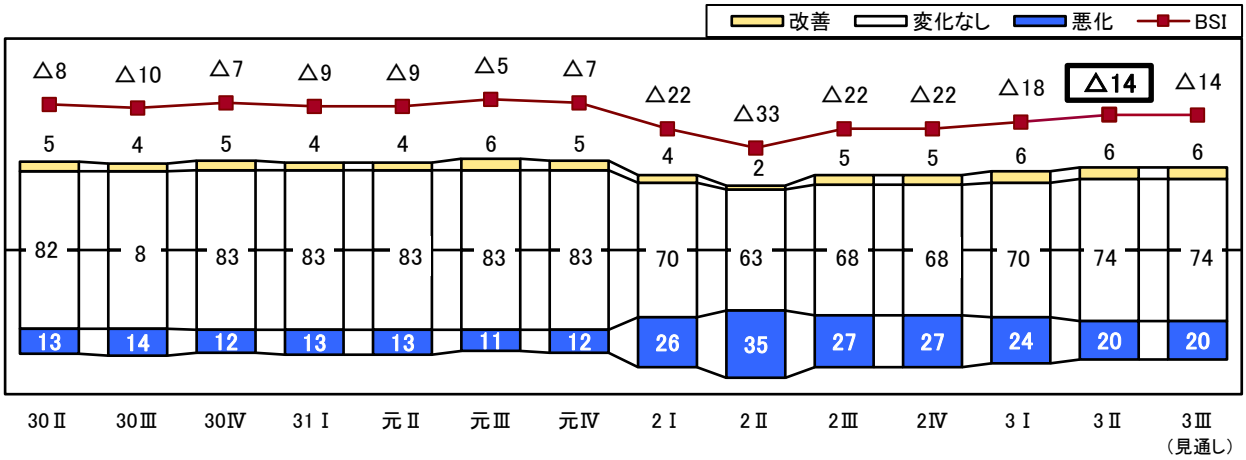
1　令和 3 年 4-6 月の概要

- □ 調査対象企業数 900 社、回答社数 623 社、回答率 69.2%
- □ 業況感は、前期から 19 ポイント上昇し、△15 ポイント。（4 期連続で上昇）
  - ・ 業種別では、建設業のみ下降し、運輸業、サービス業で大幅に上昇。
  - ・ 地域別では、全ての地域で上昇。道南、釧路・根室は 20 ポイント以上上昇。
  - ・ 来期（7-9 月）見通しは、今期から 7 ポイント下降し、△22 ポイント。
- □ 資金繰りは、前期から 4 ポイント上昇し、△14 ポイント。
- □ 雇用者総数は、前期から 3 ポイント上昇し、△7 ポイント。

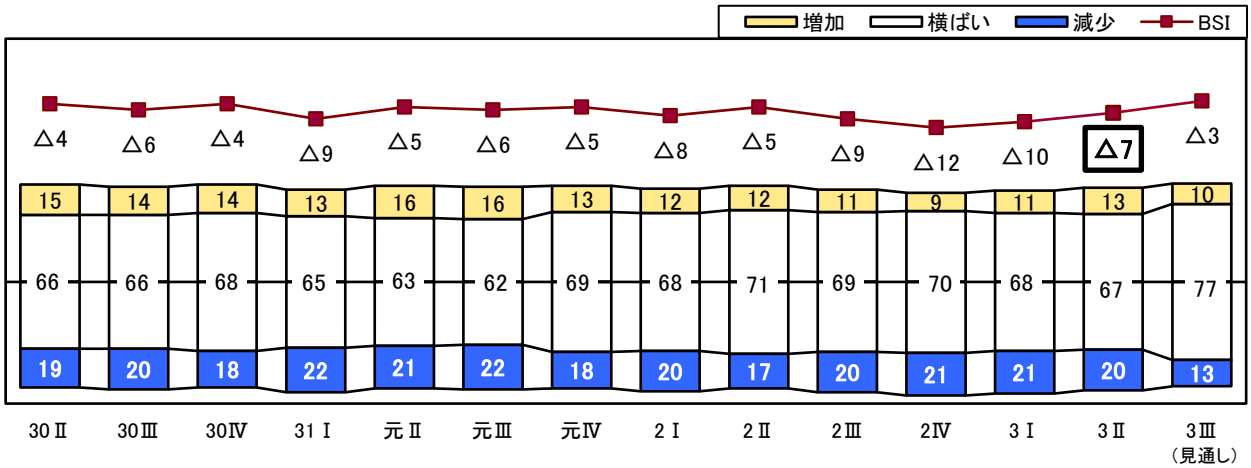
1　業況感（「上昇」－「下降」）



2　資金繰り（「改善」－「悪化」）



3　雇用者総数（「増加」－「減少」）



４　業種・地域別の業況

ア　実績と見通し

区　分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 34	15	55	30	△ 15	19	9	60	31	△ 22	△ 7
業種	建設業	△ 11	4	71	25	△ 21	△ 10	3	64	33	△ 30	△ 9
	製造業	△ 33	15	52	33	△ 18	15	9	65	26	△ 17	1
	卸売･小売業	△ 17	25	40	35	△ 10	7	11	55	34	△ 23	△ 13
	運輸業	△ 52	12	58	30	△ 18	34	15	63	22	△ 7	11
	サービス業	△ 47	15	56	29	△ 14	33	8	59	33	△ 25	△ 11
資本金	5千万円未満	△ 39	13	53	34	△ 21	18	8	57	35	△ 27	△ 6
	5千万以上～1億円未満	△ 25	21	55	24	△ 3	22	13	61	26	△ 13	△ 10
	1億円以上	△ 20	18	65	17	1	21	10	74	16	△ 6	△ 7
地域	道南	△ 32	20	55	25	△ 5	27	11	63	26	△ 15	△ 10
	道央	△ 33	15	54	31	△ 16	17	9	64	27	△ 18	△ 2
	道北	△ 33	16	47	37	△ 21	12	10	50	40	△ 30	△ 9
	オホーツク	△ 36	8	63	29	△ 21	15	8	60	32	△ 24	△ 3
	十勝	△ 30	16	57	27	△ 11	19	8	59	33	△ 25	△ 14
	釧路･根室	△ 41	14	56	30	△ 16	25	9	59	32	△ 23	△ 7

イ　主な上昇･下降業種（中分類）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 （▲11→▲21）		総合工事業（▲11→▲21） 設備工事業（▲12→▲9）
製造業 （▲33→▲18）	食料品製造（▲29→0） 木材・木製品製造業（▲28→22） 化学工業（0→33） 金属製品製造業（▲90→▲50） 生産用機械器具製造（▲78→▲33）	飲料・たばこ・飼料製造業（0→▲20） パルプ･紙･紙加工品製造業（0→▲20） 窯業・土石製品製造業（▲17→▲25） 輸送用機械器具製造業（▲33→▲50）
卸売･小売業 （▲17→▲10）	繊維・衣服等卸売業（▲60→▲40） 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲18→15） 飲食料品小売業（▲53→▲20） 機械器具小売業（4→12） その他の小売業（▲47→▲36）	飲食料品卸売業（▲11→▲29） 機械器具卸売業（29→20） 織物・衣服・身の回り品小売業（▲34→▲57）
運輸業 （▲52→▲18）	道路旅客運送業（▲90→▲38） 道路貨物運送業（▲41→▲10） 倉庫業（▲14→0）	

大分類	上昇業種	下降業種
サービス業 （▲47→▲14）	情報サービス業（▲35→▲14） 技術サービス業（▲25→▲14） 宿泊業（▲72→2）、飲食店（▲82→▲31） 洗濯･理容･美容･浴場業（▲79→▲22） その他の生活関連サービス業（▲80→0） 廃棄物処理業（▲38→0） 職業紹介・労働者派遣業（▲43→▲40）	物品賃貸業（▲27→▲36） 自動車整備業（▲12→▲18）

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

ウ　主な上位･下位業種（中分類または小分類）

上位業種	下位業種
木材・木製品製造業（22） 化学工業（33） 自動車小売業（22）	金属製品製造業（▲50） 輸送用機械器具製造業（▲50） 織物・衣服・身の回り品小売業（▲57） 一般乗用旅客自動車運送業（▲47）

エ　地域別の上昇･下降業種（大分類）

地　域	上昇業種	下降業種
道南（▲32→▲5）	建設業（▲13→0） 製造業（▲20→7） 卸売･小売業（▲29→6） 運輸業（▲40→0） サービス業（▲50→▲25）	
道央（▲33→▲16）	製造業（▲35→▲17） 運輸業（▲55→▲20） サービス業（▲44→▲16）	建設業（▲14→▲21）
道北（▲33→▲21）	製造業（▲35→▲31） 運輸業（▲50→0） サービス業（▲52→▲27）	建設業（▲7→▲25） 卸売･小売業（▲7→▲11）
オホーツク（▲36→▲21）	卸売･小売業（▲31→▲16） 運輸業（▲75→▲45） サービス業（▲57→▲11）	建設業（18→▲9） 製造業（▲27→▲29）
十勝（▲30→▲11）	製造業（▲54→▲25） サービス業（▲40→15）	建設業（▲9→▲20） 卸売･小売業（▲9→▲16） 運輸業（▲25→▲30）
釧路･根室（▲41→▲16）	製造業（▲25→▲10） 卸売･小売業（▲30→▲11） 運輸業（▲58→▲18） サービス業（▲43→0）	建設業（▲44→▲50）

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

2　調査結果

1　経営状況

（1）業況感

今期の業況感ＢＳＩは △ 15（前期から 19 ポイント上昇）

・業種別にみると、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が縮小、特に道南、釧路・根室は大幅に縮小

来期の業況感ＢＳＩは △ 22 （今期から 7 ポイント下降）

図1－(1) 業況感

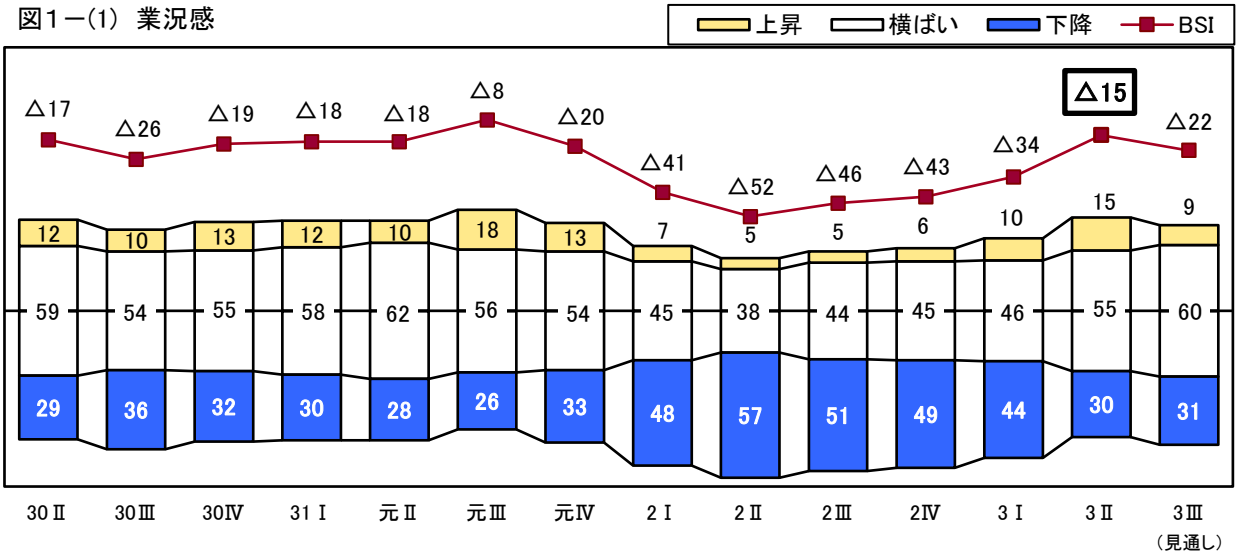


表1-(1) 業況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 34	15	55	30	△ 15	19	9	60	31	△ 22	△ 7
	札幌市を除く	△ 35	15	54	31	△ 16	19	9	59	32	△ 23	△ 7
	札幌市	△ 30	16	55	29	△ 13	17	11	65	24	△ 13	0
業種	建設業	△ 11	4	71	25	△ 21	△ 10	3	64	33	△ 30	△ 9
	製造業	△ 33	15	52	33	△ 18	15	9	65	26	△ 17	1
	卸売･小売業	△ 17	25	40	35	△ 10	7	11	55	34	△ 23	△ 13
	運輸業	△ 52	12	58	30	△ 18	34	15	63	22	△ 7	11
	サービス業	△ 47	15	56	29	△ 14	33	8	59	33	△ 25	△ 11
資本金	5千万円未満	△ 39	13	53	34	△ 21	18	8	57	35	△ 27	△ 6
	5千万以上～1億円未満	△ 25	21	55	24	△ 3	22	13	61	26	△ 13	△ 10
	1億円以上	△ 20	18	65	17	1	21	10	74	16	△ 6	△ 7
地域	道南	△ 32	20	55	25	△ 5	27	11	63	26	△ 15	△ 10
	道央	△ 33	15	54	31	△ 16	17	9	64	27	△ 18	△ 2
	札幌市を除く	△ 37	14	53	33	△ 19	18	8	61	31	△ 23	△ 4
	札幌市	△ 30	16	55	29	△ 13	17	11	65	24	△ 13	0
	道北	△ 33	16	47	37	△ 21	12	10	50	40	△ 30	△ 9
	オホーツク	△ 36	8	63	29	△ 21	15	8	60	32	△ 24	△ 3
	十勝	△ 30	16	57	27	△ 11	19	8	59	33	△ 25	△ 14
	釧路･根室	△ 41	14	56	30	△ 16	25	9	59	32	△ 23	△ 7

（２）売上（生産）高

今期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 15 （前期から 21 ポイント上昇）

・業種別にみると、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が縮小、特に道南は大幅に縮小

来期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 19（今期から 4 ポイント下降）

図1－(2) 売上(生産)高

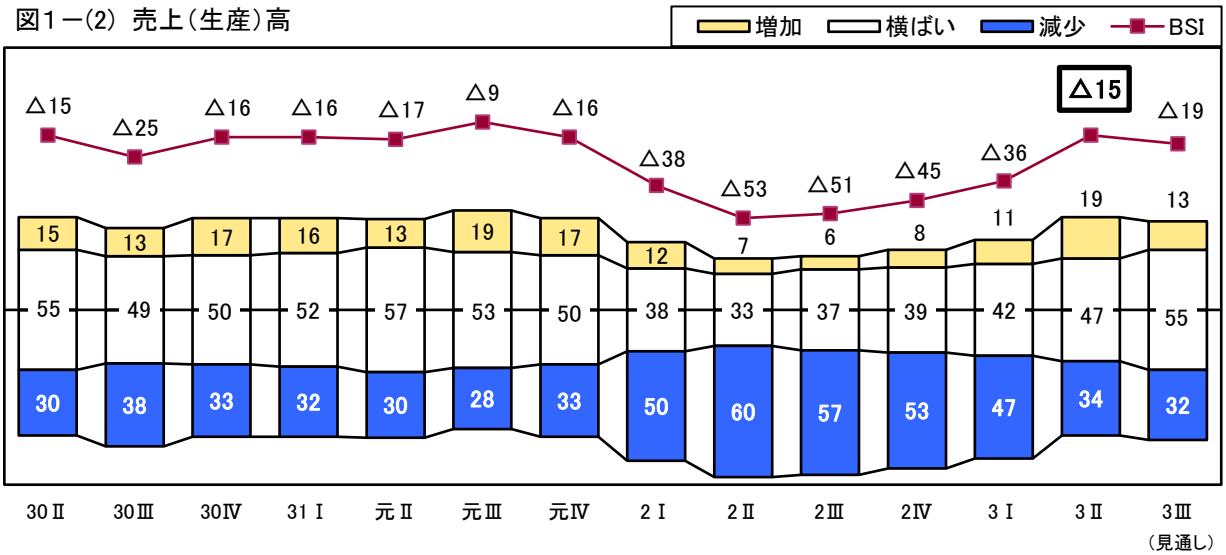


表1-(2) 売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区 分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 36	19	47	34	△ 15	21	13	55	32	△ 19	△ 4
	札幌市を除く	△ 37	17	48	35	△ 18	19	12	53	35	△ 23	△ 5
	札幌市	△ 30	26	44	30	△ 4	26	17	60	23	△ 6	△ 2
業種	建設業	△ 13	8	63	29	△ 21	△ 8	5	55	40	△ 35	△ 14
	製造業	△ 32	20	43	37	△ 17	15	19	52	29	△ 10	7
	卸売･小売業	△ 21	33	31	36	△ 3	18	15	54	31	△ 16	△ 13
	運輸業	△ 54	14	51	35	△ 21	33	16	60	24	△ 8	13
	サービス業	△ 49	19	48	33	△ 14	35	12	54	34	△ 22	△ 8
資本金	5千万円未満	△ 41	17	45	38	△ 21	20	12	52	36	△ 24	△ 3
	5千万以上～1億円未満	△ 29	23	49	28	△ 5	24	18	55	27	△ 9	△ 4
	1億円以上	△ 16	27	52	21	6	22	14	69	17	△ 3	△ 9
地域	道南	△ 36	22	48	30	△ 8	28	12	58	30	△ 18	△ 10
	道央	△ 34	22	46	32	△ 10	24	14	58	28	△ 14	△ 4
	札幌市を除く	△ 37	17	49	34	△ 17	20	11	56	33	△ 22	△ 5
	札幌市	△ 30	26	44	30	△ 4	26	17	60	23	△ 6	△ 2
	道北	△ 34	16	41	43	△ 27	7	11	47	42	△ 31	△ 4
	オホーツク	△ 42	14	50	36	△ 22	20	14	52	34	△ 20	2
	十勝	△ 28	25	46	29	△ 4	24	16	49	35	△ 19	△ 15
	釧路･根室	△ 44	11	52	37	△ 26	18	14	53	33	△ 19	7

（３）経常利益

今期の経常利益ＢＳＩは △ 22（前期から 16 ポイント上昇）

・業種別にみると、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が縮小

来期の経常利益ＢＳＩは △ 26（今期から 4 ポイント下降）

図1－(3) 経常利益

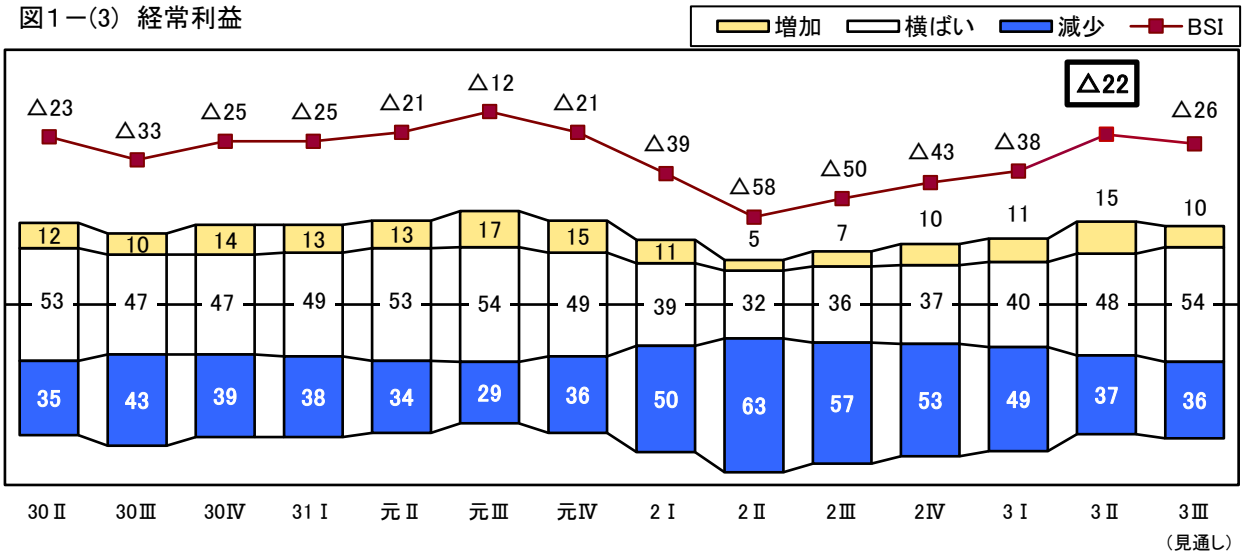


表1-(3) 経常利益（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 38	15	48	37	△ 22	16	10	54	36	△ 26	△ 4
	札幌市を除く	△ 41	13	48	39	△ 26	15	9	51	40	△ 31	△ 5
	札幌市	△ 28	26	45	29	△ 3	25	14	63	23	△ 9	△ 6
業種	建設業	△ 20	8	59	33	△ 25	△ 5	4	47	49	△ 45	△ 20
	製造業	△ 40	14	45	41	△ 27	13	10	56	34	△ 24	3
	卸売･小売業	△ 24	28	35	37	△ 9	15	10	54	36	△ 26	△ 17
	運輸業	△ 58	10	55	35	△ 25	33	13	59	28	△ 15	10
	サービス業	△ 46	15	48	37	△ 22	24	12	52	36	△ 24	△ 2
資本金	5千万円未満	△ 44	12	45	43	△ 31	13	9	50	41	△ 32	△ 1
	5千万以上～1億円未満	△ 28	23	50	27	△ 4	24	14	55	31	△ 17	△ 13
	1億円以上	△ 20	23	57	20	3	23	12	69	19	△ 7	△ 10
地域	道南	△ 37	12	55	33	△ 21	16	4	59	37	△ 33	△ 12
	道央	△ 35	19	46	35	△ 16	19	12	58	30	△ 18	△ 2
	札幌市を除く	△ 42	13	47	40	△ 27	15	11	52	37	△ 26	1
	札幌市	△ 28	26	45	29	△ 3	25	14	63	23	△ 9	△ 6
	道北	△ 36	16	42	42	△ 26	10	11	46	43	△ 32	△ 6
	オホーツク	△ 53	3	58	39	△ 36	17	9	53	38	△ 29	7
	十勝	△ 31	19	44	37	△ 18	13	11	49	40	△ 29	△ 11
	釧路･根室	△ 51	11	46	43	△ 32	19	9	45	46	△ 37	△ 5

（４）資金繰り

今期の資金繰りＢＳＩは △ 14 （前期から４ポイント上昇）

・業種別にみると、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業、製造業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道南、道央、道北、オホーツク、十勝でマイナス幅が縮小

来期の資金繰りＢＳＩは △ 14（今期から横ばい）

図１－(4) 資金繰り

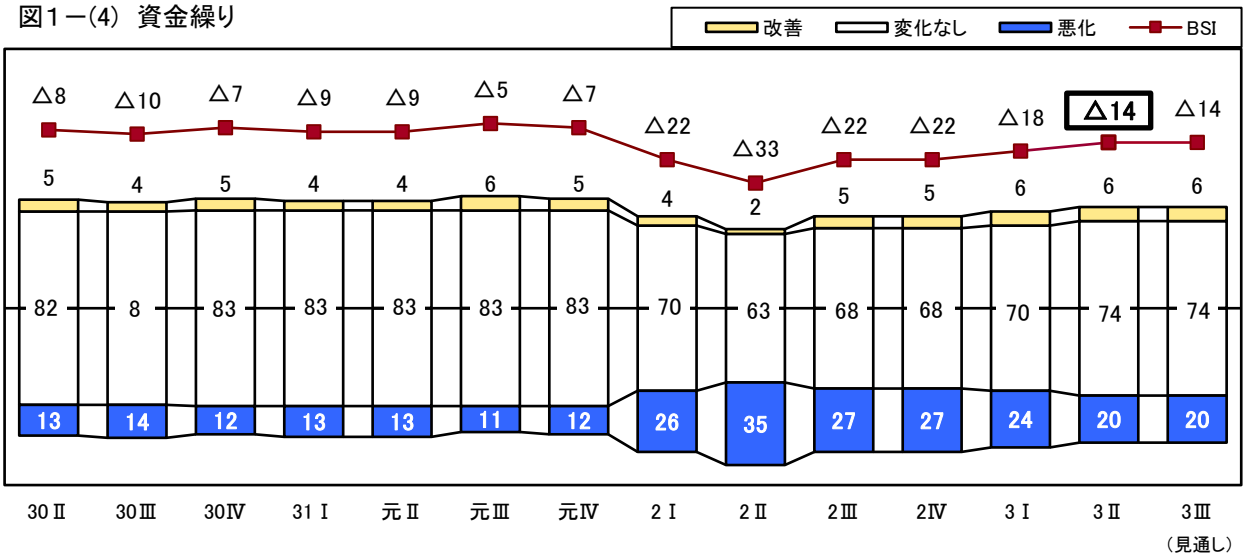


表1-(4) 資金繰り（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総 計		△ 18	6	74	20	△ 14	4	6	74	20	△ 14	0
	札幌市を除く	△ 19	6	72	22	△ 16	3	6	72	22	△ 16	0
	札幌市	△ 15	8	76	16	△ 8	7	5	83	12	△ 7	1
業種	建設業	△ 2	5	87	8	△ 3	△ 1	4	84	12	△ 8	△ 5
	製造業	△ 14	4	77	19	△ 15	△ 1	4	78	18	△ 14	1
	卸売･小売業	△ 13	9	69	22	△ 13	0	8	74	18	△ 10	3
	運輸業	△ 23	8	78	14	△ 6	17	8	76	16	△ 8	△ 2
	サービス業	△ 29	5	66	29	△ 24	5	5	67	28	△ 23	1
資本金	5千万円未満	△ 22	5	70	25	△ 20	2	4	72	24	△ 20	0
	5千万以上～1億円未満	△ 8	12	72	16	△ 4	4	11	73	16	△ 5	△ 1
	1億円以上	△ 8	5	90	5	0	8	6	90	4	2	2
地域	道南	△ 25	4	78	18	△ 14	11	1	76	23	△ 22	△ 8
	道央	△ 15	8	72	20	△ 12	3	7	76	17	△ 10	2
	札幌市を除く	△ 15	8	69	23	△ 15	0	8	71	21	△ 13	2
	札幌市	△ 15	8	76	16	△ 8	7	5	83	12	△ 7	1
	道北	△ 26	8	64	28	△ 20	6	6	66	28	△ 22	△ 2
	オホーツク	△ 18	5	74	21	△ 16	2	8	72	20	△ 12	4
	十勝	△ 9	5	82	13	△ 8	1	8	79	13	△ 5	3
	釧路･根室	△ 19	4	73	23	△ 19	0	0	74	26	△ 26	△ 7

２　雇用状況

（１）雇用者総数

今期の雇用者総数ＢＳＩは △ 7（前期から３ポイント上昇）

・業種別にみると、建設業でプラス幅が拡大、製造業、卸売・小売業、運輸業でマイナス幅が縮小、サービス業マイナス幅が拡大
・地域別にみると、道南でプラスに転換、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道央、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数ＢＳＩは △ 3（今期から４ポイント上昇）

図２－(1)　雇用者総数

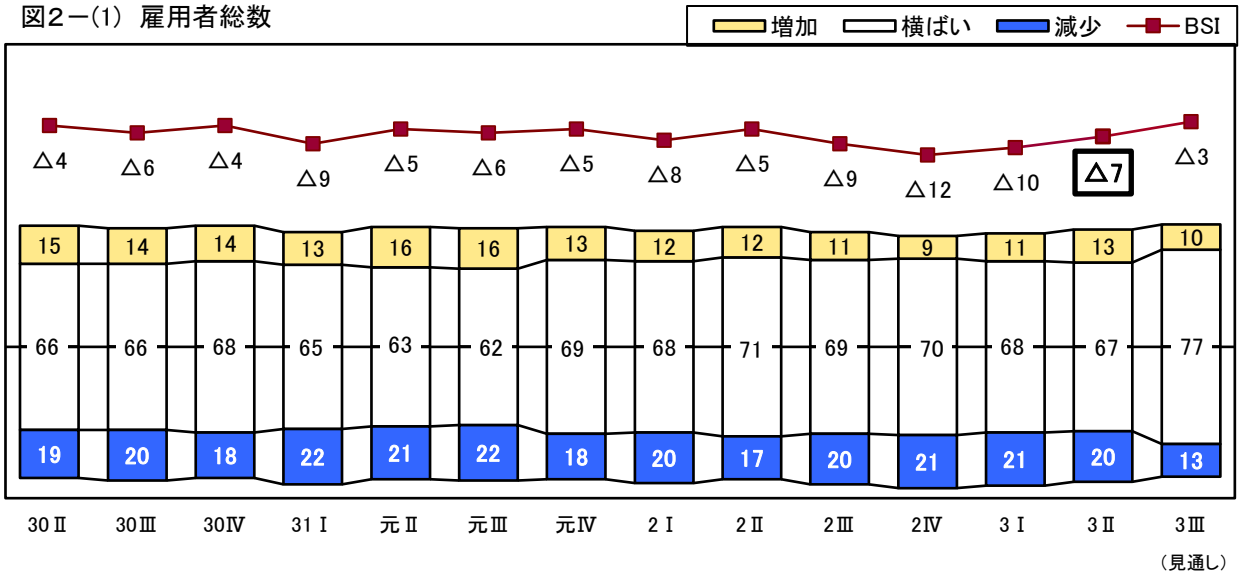


表2-(1)　雇用者総数（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 10	13	67	20	△ 7	3	10	77	13	△ 3	4
	札幌市を除く	△ 12	13	68	19	△ 6	6	9	77	14	△ 5	1
	札幌市	△ 5	17	63	20	△ 3	2	16	74	10	6	9
業種	建設業	7	22	67	11	11	4	11	80	9	2	△ 9
	製造業	△ 13	13	74	13	0	13	12	80	8	4	4
	卸売･小売業	△ 9	15	70	15	0	9	7	83	10	△ 3	△ 3
	運輸業	△ 15	10	66	24	△ 14	1	10	76	14	△ 4	10
	サービス業	△ 15	11	61	28	△ 17	△ 2	12	68	20	△ 8	9
資本金	5千万円未満	△ 12	12	69	19	△ 7	5	9	76	15	△ 6	1
	5千万以上～1億円未満	△ 16	17	60	23	△ 6	10	12	75	13	△ 1	5
	1億円以上	6	18	66	16	2	△ 4	16	78	6	10	8
地域	道南	△ 15	15	74	11	4	19	4	88	8	△ 4	△ 8
	道央	△ 2	14	67	19	△ 5	△ 3	13	76	11	2	7
	札幌市を除く	0	11	72	17	△ 6	△ 6	10	77	13	△ 3	3
	札幌市	△ 5	17	63	20	△ 3	2	16	74	10	6	9
	道北	△ 21	11	61	28	△ 17	4	11	63	26	△ 15	2
	オホーツク	△ 12	11	64	25	△ 14	△ 2	10	77	13	△ 3	11
	十勝	△ 12	16	66	18	△ 2	10	11	74	15	△ 4	△ 2
	釧路･根室	△ 19	14	68	18	△ 4	15	7	84	9	△ 2	2

（２）雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感ＢＳＩは 28（前期から２ポイント下降）

・業種別にみると、運輸業、サービス業でプラス幅が拡大、建設業、製造業、卸売・小売業でプラス幅が縮小
・地域別にみると、道南、釧路・根室でプラス幅が拡大、道央、道北、オホーツク、十勝でプラス幅が縮小

来期の雇用者の不足感ＢＳＩは 28（今期から横ばい）

図2－(2) 雇用者の不足感

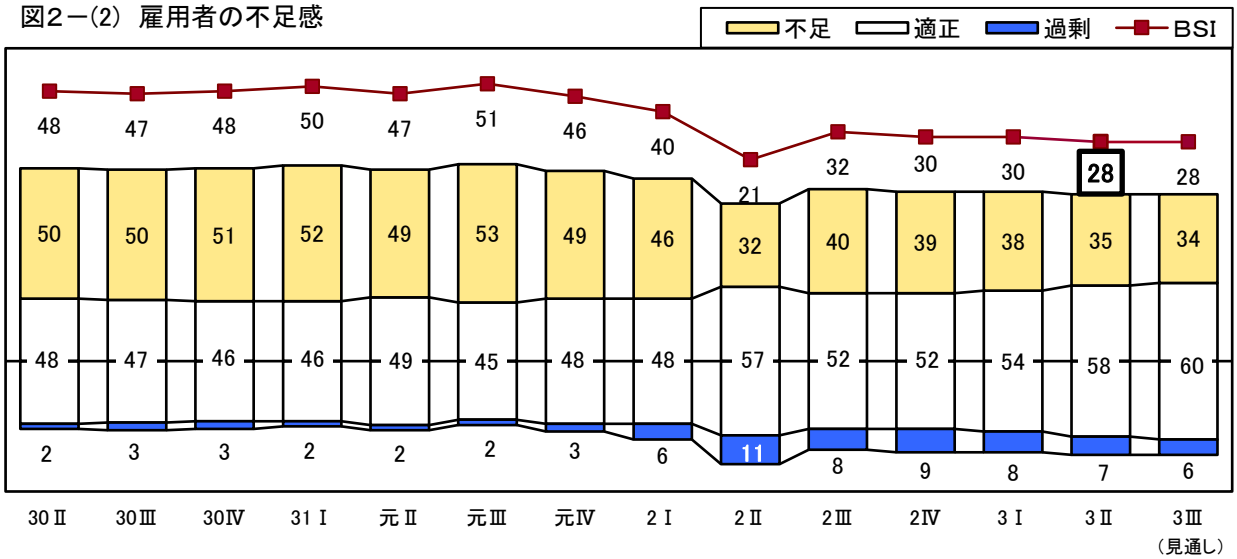


表2-(2) 雇用者の不足感（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総 計		30	35	58	7	28	△ 2	34	60	6	28	0
	札幌市を除く	30	36	57	7	29	△ 1	35	60	5	30	1
	札幌市	31	31	60	9	22	△ 9	32	62	6	26	4
業種	建設業	54	51	47	2	49	△ 5	52	47	1	51	2
	製造業	32	29	66	5	24	△ 8	29	67	4	25	1
	卸売･小売業	24	28	65	7	21	△ 3	27	65	8	19	△ 2
	運輸業	40	46	49	5	41	1	43	50	7	36	△ 5
	サービス業	16	29	60	11	18	2	29	64	7	22	4
資本金	5千万円未満	28	32	60	8	24	△ 4	33	61	6	27	3
	5千万以上～1億円未満	39	47	48	5	42	3	46	52	2	44	2
	1億円以上	26	32	62	6	26	0	26	68	6	20	△ 6
地域	道南	19	30	62	8	22	3	30	61	9	21	△ 1
	道央	26	31	59	10	21	△ 5	31	62	7	24	3
	札幌市を除く	22	32	57	11	21	△ 1	30	61	9	21	0
	札幌市	31	31	60	9	22	△ 9	32	62	6	26	4
	道北	45	46	51	3	43	△ 2	46	52	2	44	1
	オホーツク	39	37	57	6	31	△ 8	41	56	3	38	7
	十勝	37	40	55	5	35	△ 2	34	64	2	32	△ 3
	釧路･根室	22	30	65	5	25	3	30	65	5	25	0

（３）残業時間

今期の残業時間ＢＳＩは △ 25（前期から６ポイント上昇）

・業種別にみると、製造業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業、卸売・小売業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道南、道央、オホーツク、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道北でマイナス幅が拡大

来期の残業時間ＢＳＩは △ 17（今期から８ポイント上昇）

図２－(3) 残業時間

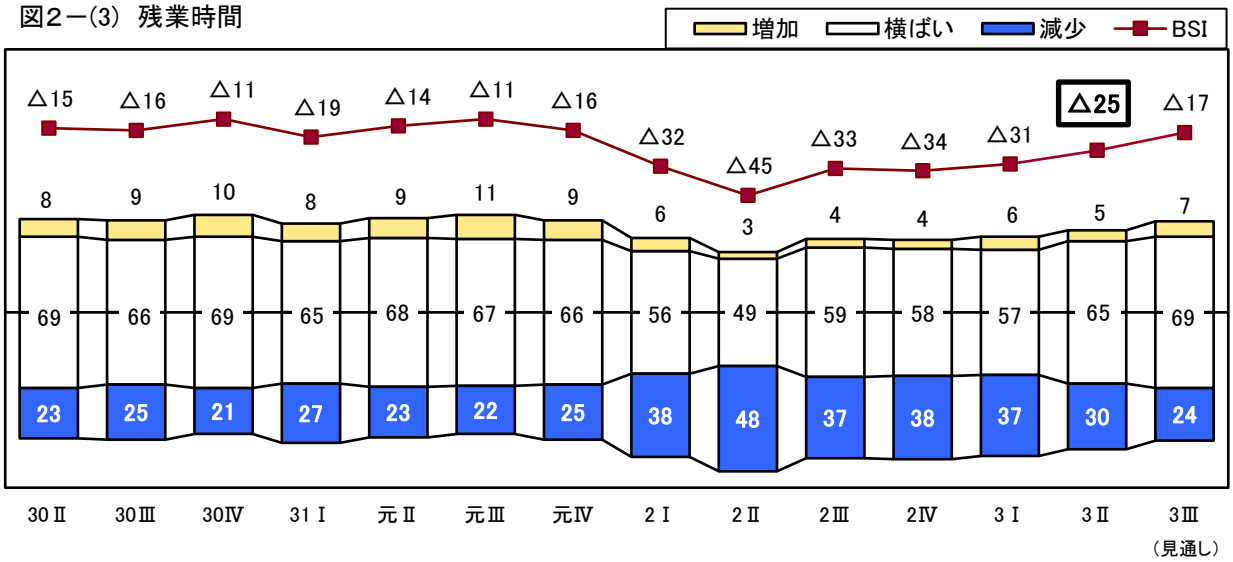


表2-(3) 残業時間（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 31	5	65	30	△ 25	6	7	69	24	△ 17	8
	札幌市を除く	△ 32	5	64	31	△ 26	6	7	67	26	△ 19	7
	札幌市	△ 29	6	71	23	△ 17	12	9	73	18	△ 9	8
業種	建設業	△ 30	1	65	34	△ 33	△ 3	5	63	32	△ 27	6
	製造業	△ 39	11	61	28	△ 17	22	10	67	23	△ 13	4
	卸売･小売業	△ 17	5	72	23	△ 18	△ 1	6	79	15	△ 9	9
	運輸業	△ 33	4	70	26	△ 22	11	11	72	17	△ 6	16
	サービス業	△ 36	5	61	34	△ 29	7	6	64	30	△ 24	5
資本金	5千万円未満	△ 32	5	63	32	△ 27	5	7	68	25	△ 18	9
	5千万以上～1億円未満	△ 43	5	70	25	△ 20	23	7	69	24	△ 17	3
	1億円以上	△ 14	7	67	26	△ 19	△ 5	7	74	19	△ 12	7
地域	道南	△ 38	2	71	27	△ 25	13	3	69	28	△ 25	0
	道央	△ 27	7	68	25	△ 18	9	9	70	21	△ 12	6
	札幌市を除く	△ 25	7	67	26	△ 19	6	8	68	24	△ 16	3
	札幌市	△ 29	6	71	23	△ 17	12	9	73	18	△ 9	8
	道北	△ 26	9	54	37	△ 28	△ 2	8	64	28	△ 20	8
	オホーツク	△ 46	2	59	39	△ 37	9	10	60	30	△ 20	17
	十勝	△ 26	5	65	30	△ 25	1	8	73	19	△ 11	14
	釧路･根室	△ 43	4	64	32	△ 28	15	4	69	27	△ 23	5

（４） １人当たり賃金

今期の１人当たり賃金ＢＳＩは 14（前期から５ポイント上昇）

・業種別にみると、建設業、製造業でプラス幅が拡大、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、卸売・小売業でプラス幅が縮小
・地域別に見ると、全ての地域でプラス幅が拡大。

来期の１人当たり賃金ＢＳＩは 13（今期から１ポイント下降）

図２－(4) １人当たり賃金

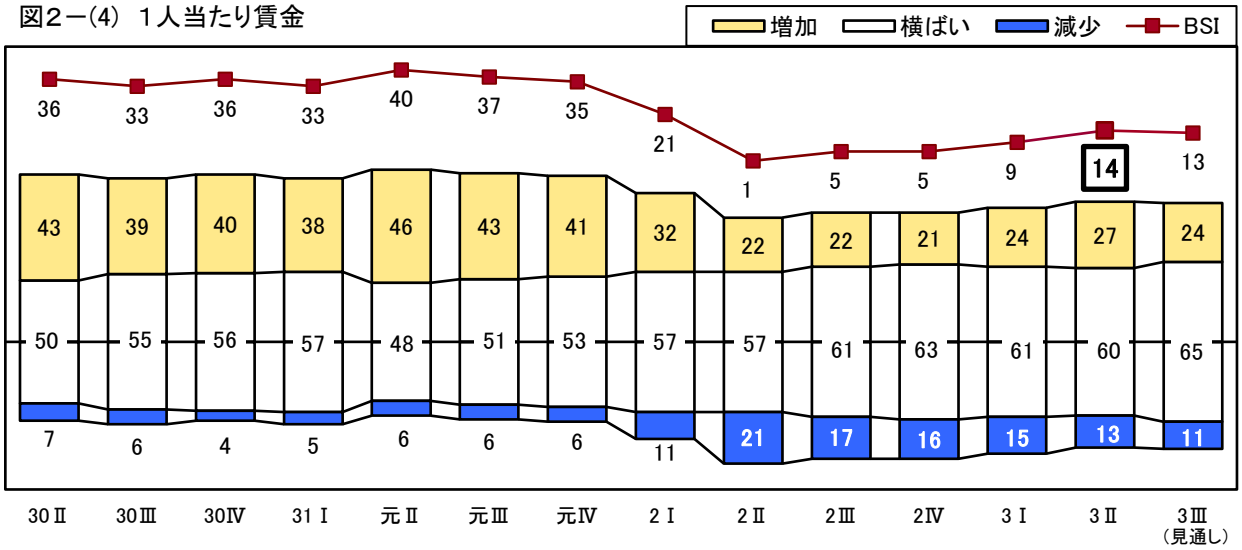


表2-(4) １人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績 増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		9	27	60	13	14	5	24	65	11	13	△ 1
	札幌市を除く	7	26	61	13	13	6	23	65	12	11	△ 2
	札幌市	13	29	61	10	19	6	26	66	8	18	△ 1
業種	建設業	31	43	51	6	37	6	31	61	8	23	△ 14
	製造業	11	28	61	11	17	6	27	62	11	16	△ 1
	卸売･小売業	22	23	67	10	13	△ 9	19	73	8	11	△ 2
	運輸業	△ 13	24	59	17	7	20	25	61	14	11	4
	サービス業	△ 2	22	62	16	6	8	21	65	14	7	1
資本金	5千万円未満	7	23	64	13	10	3	22	66	12	10	0
	5千万以上～1億円未満	4	36	51	13	23	19	31	57	12	19	△ 4
	1億円以上	21	32	59	9	23	2	23	70	7	16	△ 7
地域	道南	9	26	59	15	11	2	21	66	13	8	△ 3
	道央	10	24	64	12	12	2	20	68	12	8	△ 4
	札幌市を除く	7	19	66	15	4	△ 3	14	70	16	△ 2	△ 6
	札幌市	13	29	61	10	19	6	26	66	8	18	△ 1
	道北	6	24	60	16	8	2	29	57	14	15	7
	オホーツク	6	38	50	12	26	20	30	59	11	19	△ 7
	十勝	10	35	59	6	29	19	25	70	5	20	△ 9
	釧路･根室	5	23	65	12	11	6	26	65	9	17	6

３　在庫、価格水準

（１）製造業

今期の実績

・製品在庫水準は、前期と比べ、「適正」、「不足」が拡大、「過大」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
・製品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小

来期の見通し

・製品在庫水準は、「不足」が拡大、「適正」が横ばい、「過大」が縮小
・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小
・製品価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小

図３－(1)　製品在庫水準

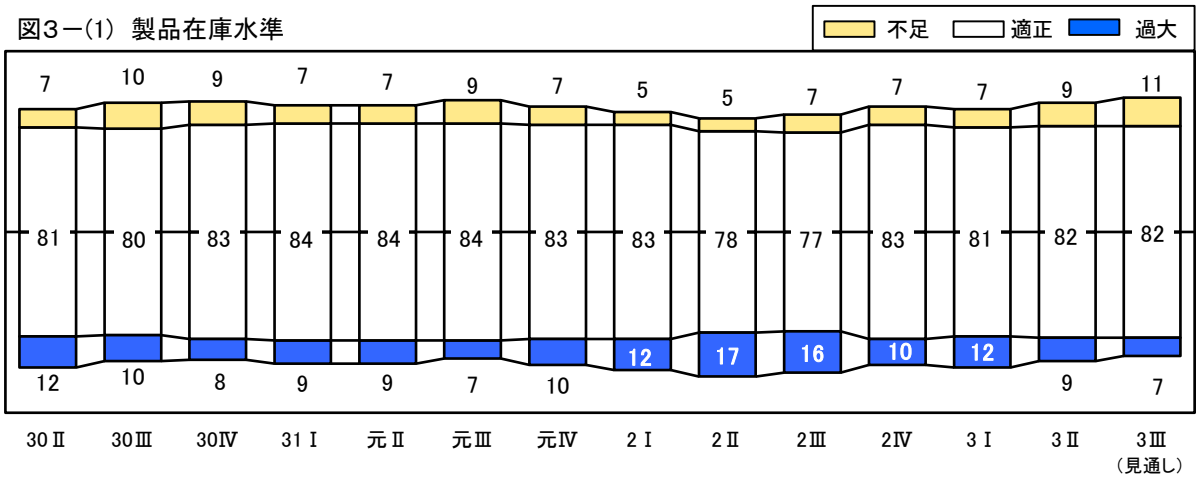


図３－(2)　仕入価格（原材料）

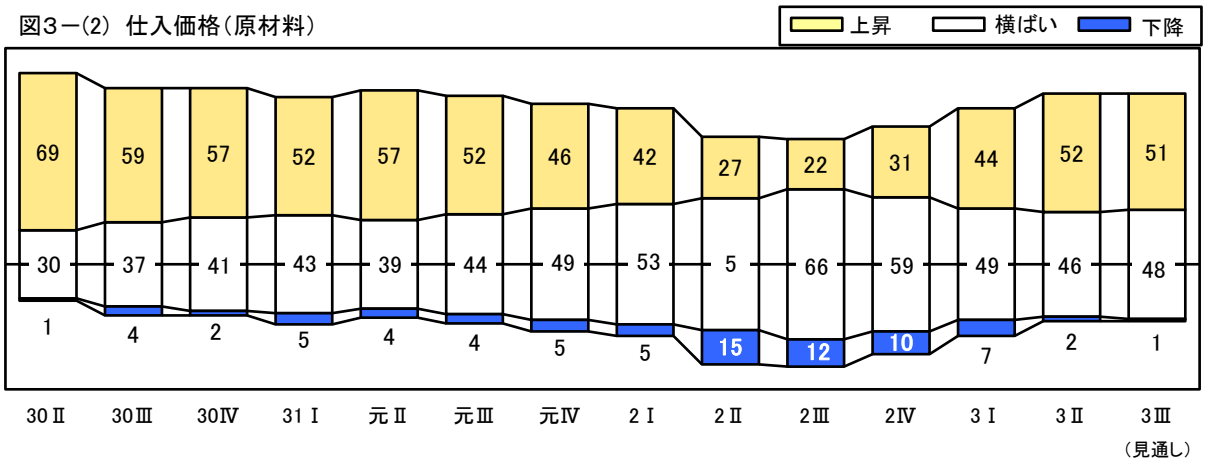
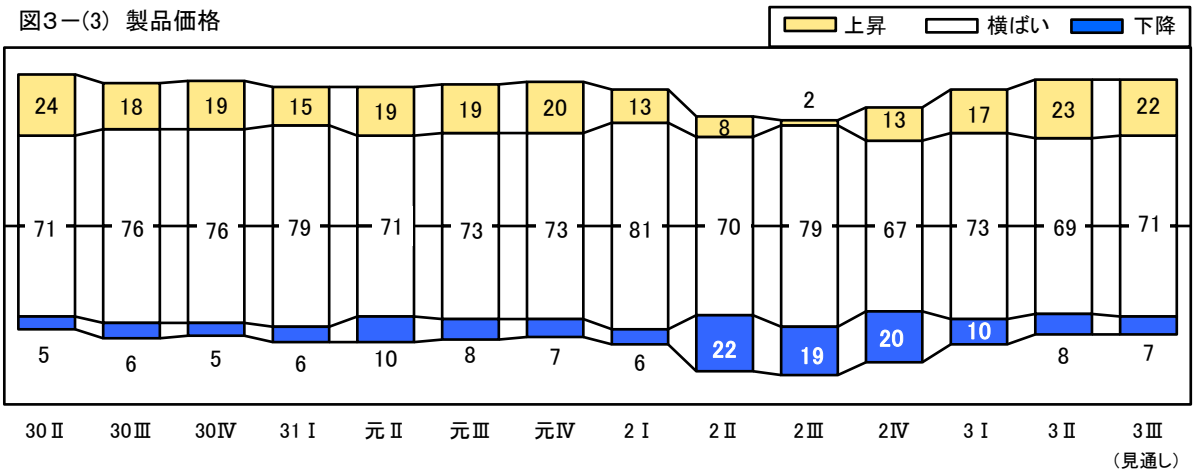


図３－(3)　製品価格



（２）卸売・小売業

今期の実績

・商品在庫水準は、前期と比べ、「不足」が拡大、「過大」が横ばい、「適正」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」拡大、「下降」が横ばい、「横ばい」が縮小
・商品価格は、前期と比べ、「上昇」「下降」が拡大、「横ばい」が縮小

来期の見通し

・商品在庫水準は、「適正」が拡大、「過大」「不足」が縮小
・仕入価格は、「下降」が拡大、「上昇」が横ばい、「横ばい」が縮小
・商品価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小

図３－(4) 商品在庫水準

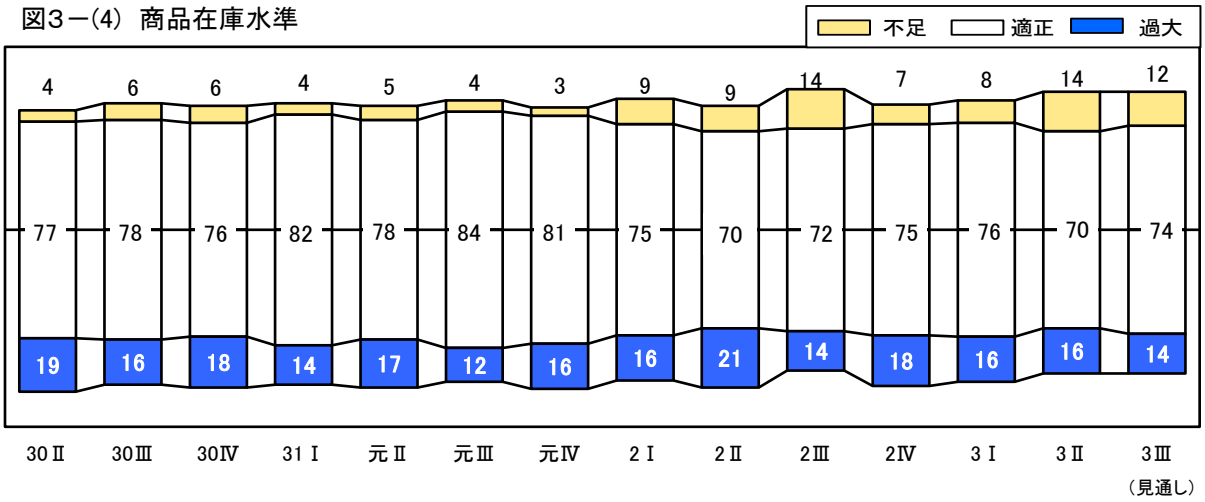


図３－(5) 仕入価格（商品）

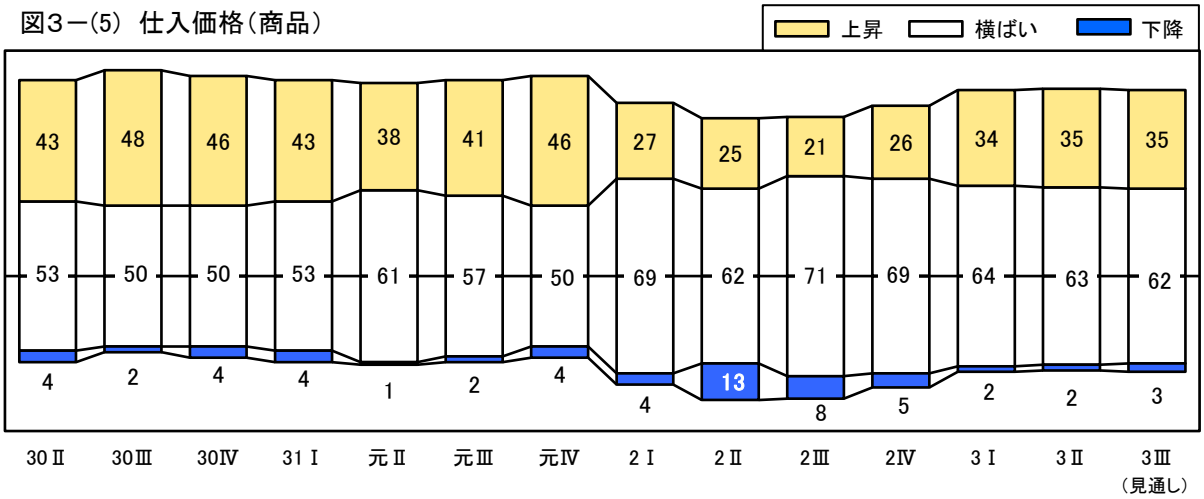
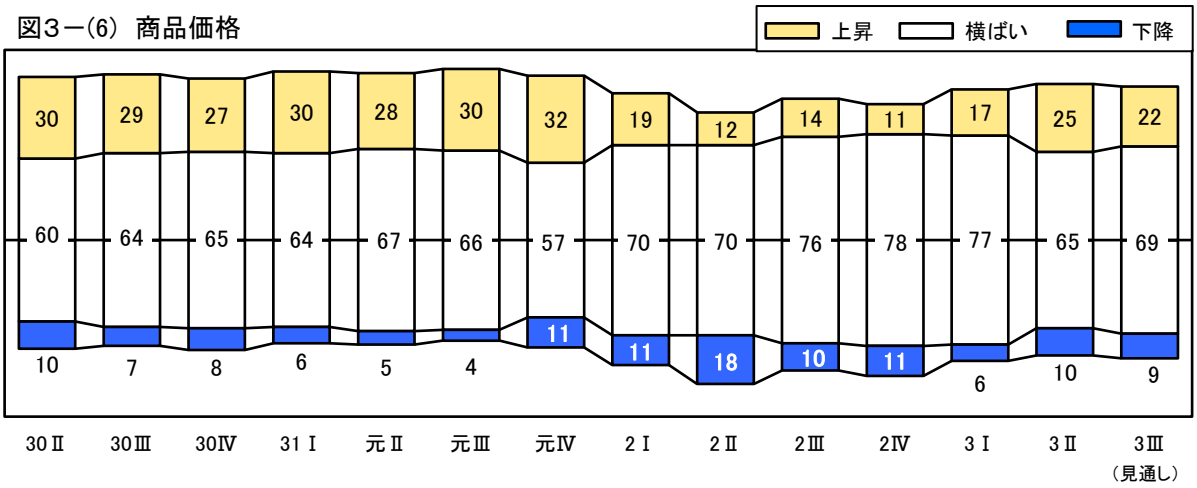


図３－(6) 商品価格



4　設備投資の状況

今期の実績

・「設備投資をした」と回答した企業は 29%で、前期から下降

・設備投資の目的については、「設備更新」が 74%、「合理化・省力化」が 21%、「生産・販売能力拡大」が 20%（複数回答）

来期の見通し

・「設備投資をする」と回答した企業は 26%で、今期から下降

・設備投資の目的については、「設備更新」が 71%、「合理化・省力化」「生産・販売能力拡大」が 26%（複数回答）

図4－(1) 設備投資の状況

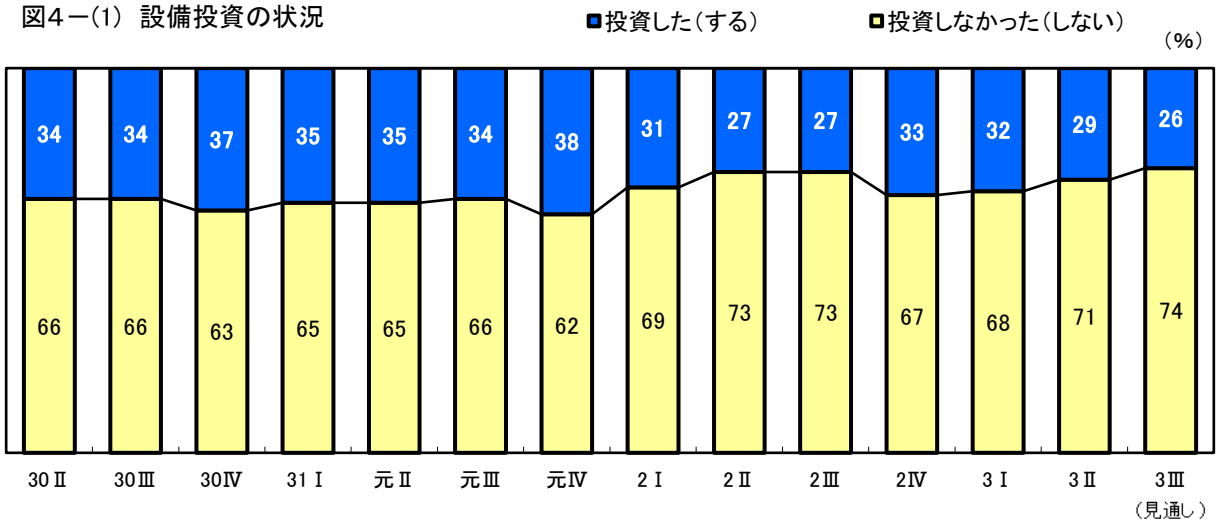


図4－(2) 設備投資の目的(複数回答)

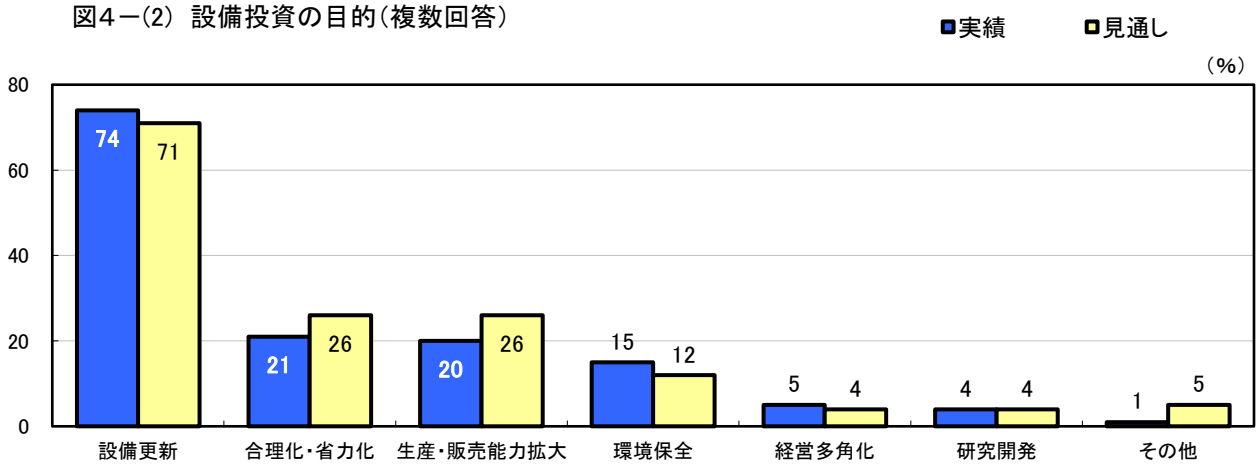


表４－(1) 設備投資の状況（R3年4-6実績）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R3年 1-3月 設備投資した	R3年 4-6月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答） 設備更新	合理化省力化	生産・販売能力拡大	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		32	29	74	21	20	15	5	4	1
	札幌市を除く	31	28	76	18	18	17	4	3	1
	札幌市	40	33	67	33	26	7	7	7	2
業種	建設業	35	29	78	22	15	7	0	0	0
	製造業	39	27	77	26	29	6	6	3	0
	卸売･小売業	34	27	78	13	22	22	6	13	0
	運輸業	39	35	85	12	6	3	3	0	0
	サービス業	24	27	61	29	23	25	7	4	4
資本金	5千万円未満	26	25	68	17	17	18	8	6	0
	5千万以上～1億円未満	39	31	86	14	17	11	0	3	3
	1億円以上	55	46	79	39	29	8	3	0	3
地域	道南	23	22	89	17	11	22	0	6	0
	道央	38	33	71	21	24	12	5	5	2
	札幌市を除く	36	33	74	9	23	16	2	2	2
	札幌市	40	33	67	33	26	7	7	7	2
	道北	30	29	68	32	14	14	0	4	0
	オホーツク	29	26	59	18	29	12	12	0	0
	十勝	28	22	86	29	7	21	14	0	0
	釧路・根室	34	28	88	6	13	19	6	6	0

表４－(2) 設備投資の状況（R3年7-9月見通し）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R3年7-9月 設備投資する	設備投資の目的（複数回答） 設備更新	生産・販売能力拡大	合理化省力化	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		26	71	26	26	12	4	4	5
	札幌市を除く	23	68	21	25	14	4	2	6
	札幌市	34	77	39	27	7	2	9	2
業種	建設業	18	71	12	24	6	0	0	6
	製造業	29	69	38	41	6	7	6	3
	卸売･小売業	26	77	20	10	13	0	7	3
	運輸業	37	82	15	15	12	3	0	0
	サービス業	23	61	35	35	17	7	4	11
資本金	5千万円未満	21	63	25	20	14	5	3	7
	5千万以上～1億円未満	25	79	25	25	4	0	7	7
	1億円以上	53	83	29	38	14	2	2	0
地域	道南	17	92	15	8	8	0	0	8
	道央	32	74	33	26	10	4	6	5
	札幌市を除く	29	70	27	24	14	6	3	8
	札幌市	34	77	39	27	7	2	9	2
	道北	32	59	17	41	7	4	0	7
	オホーツク	16	50	30	10	20	6	0	0
	十勝	21	62	8	31	38	5	0	8
	釧路・根室	21	83	25	17	8	0	8	0

５　地域別にみる各産業の動向

（１）道南

今期の業況感ＢＳＩは △ 5（前期から 27 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･電子部品・デバイス・電子回路製造業（0→100）、
織物・衣服・身の回り品（▲100→0）、鉄道業（▲100→0）、
通信業（▲100→0）、飲食店（▲50→50）、
廃棄物処理業（▲100→0）

主な下降業種･･･輸送用機械器具製造業（0→▲50）、
飲食料品小売業（▲33→▲50）、道路旅客運送業（0→▲50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 15（今期から 10 ポイント下降）

図５－(1) 地域別BSIの推移【道南】

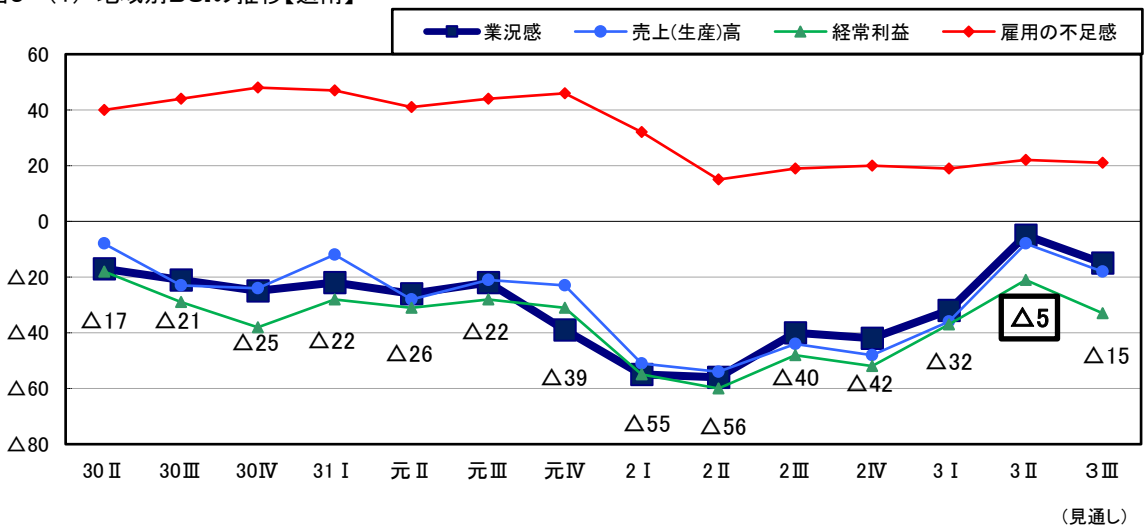


表５－(1) 地域別BSI【道南】

区　分		R3年1-3月実績BSI	R3年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 32	20	55	25	△ 5	27	11	63	26	△ 15	△ 10
	建設業	△ 13	8	84	8	0	13	0	77	23	△ 23	△ 23
	製造業	△ 20	27	53	20	7	27	20	73	7	13	6
	卸売･小売業	△ 29	35	36	29	6	35	19	43	38	△ 19	△ 25
	運輸業	△ 40	17	66	17	0	40	25	67	8	17	17
	サービス業	△ 50	13	49	38	△ 25	25	0	58	42	△ 42	△ 17
売上(生産)高	全産業	△ 36	22	48	30	△ 8	28	12	58	30	△ 18	△ 10
	建設業	△ 13	15	70	15	0	13	0	69	31	△ 31	△ 31
	製造業	△ 33	27	46	27	0	33	33	40	27	6	6
	卸売･小売業	△ 33	35	36	29	6	39	19	56	25	△ 6	△ 12
	運輸業	△ 30	17	58	25	△ 8	22	17	66	17	0	8
	サービス業	△ 57	16	40	44	△ 28	29	0	60	40	△ 40	△ 12
経常利益	全産業	△ 37	12	55	33	△ 21	16	4	59	37	△ 33	△ 12
	建設業	△ 26	15	70	15	0	26	0	46	54	△ 54	△ 54
	製造業	△ 33	7	53	40	△ 33	0	7	60	33	△ 26	7
	卸売･小売業	△ 33	29	42	29	0	33	13	62	25	△ 12	△ 12
	運輸業	△ 30	8	67	25	△ 17	13	0	83	17	△ 17	0
	サービス業	△ 53	4	52	44	△ 40	13	0	52	48	△ 48	△ 8
雇用者の不足感	全産業	19	30	62	8	22	3	30	61	9	21	△ 1
	建設業	53	46	54	0	46	△ 7	62	38	0	62	16
	製造業	33	40	60	0	40	7	40	60	0	40	0
	卸売･小売業	5	24	58	18	6	1	25	50	25	0	△ 6
	運輸業	30	27	64	9	18	△ 12	9	82	9	0	△ 18
	サービス業	△ 9	21	71	8	13	22	21	71	8	13	0

※「売上（生産）高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、
「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。（以下、同じ。）

（２）道央

今期の業況感ＢＳＩは △ 16（前期から 17 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･木材・木製品製造業（0→100）、金属製品製造業（▲100→▲33）、
道路旅客運送業（▲100→▲33）、宿泊業（▲83→▲7）、
洗濯・理容・美容・浴場業（▲100→0）、
その他の生活関連サービス業（▲75→0）

主な下降業種･･･家具・装備品製造業（0→▲100）、電気機械器具製造業（0→▲100）、
飲食料品卸売業（43→▲14）、
織物・衣服・身の回り品小売業（0→▲100）、通信業（0→▲50）、
広告業（100→▲50）、職業紹介・労働者派遣業（50→0）

来期の業況感ＢＳＩは △ 18 （今期から 2 ポイント下降）

図５－(2) 地域別BSIの推移【道央】

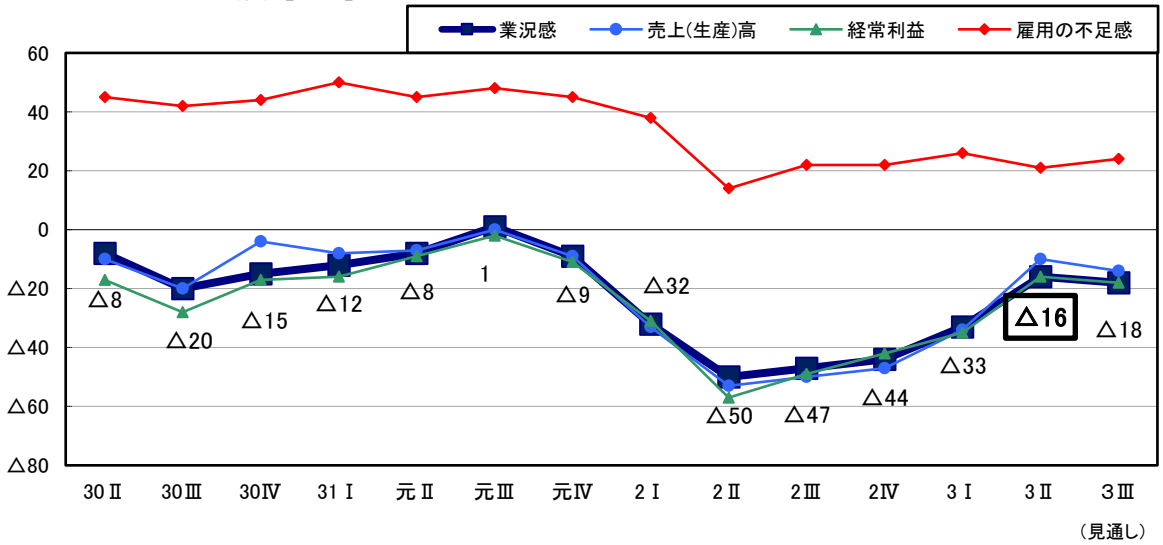


表５－(2) 地域別BSI【道央】

区 分		R3年1-3月実績BSI	R3年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 33	15	54	31	△ 16	17	9	64	27	△ 18	△ 2
	建設業	△ 14	3	73	24	△ 21	△ 7	0	67	33	△ 33	△ 12
	製造業	△ 35	16	51	33	△ 17	18	7	70	23	△ 16	1
	卸売･小売業	△ 12	29	30	41	△ 12	0	12	58	30	△ 18	△ 6
	運輸業	△ 55	11	58	31	△ 20	35	20	66	14	6	26
	サービス業	△ 44	11	62	27	△ 16	28	8	61	31	△ 23	△ 7
売上（生産）高	全産業	△ 34	22	46	32	△ 10	24	14	58	28	△ 14	△ 4
	建設業	△ 14	6	70	24	△ 18	△ 4	3	64	33	△ 30	△ 12
	製造業	△ 33	23	38	39	△ 16	17	16	59	25	△ 9	7
	卸売･小売業	△ 12	41	24	35	6	18	18	54	28	△ 10	△ 16
	運輸業	△ 64	11	55	34	△ 23	41	23	57	20	3	26
	サービス業	△ 44	20	50	30	△ 10	34	11	58	31	△ 20	△ 10
経常利益	全産業	△ 35	19	46	35	△ 16	19	12	58	30	△ 18	△ 2
	建設業	△ 23	6	55	39	△ 33	△ 10	0	55	45	△ 45	△ 12
	製造業	△ 40	20	44	36	△ 16	24	14	59	27	△ 13	3
	卸売･小売業	△ 18	33	30	37	△ 4	14	12	54	34	△ 22	△ 18
	運輸業	△ 58	11	52	37	△ 26	32	26	51	23	3	29
	サービス業	△ 40	19	51	30	△ 11	29	11	62	27	△ 16	△ 5
雇用者の不足感	全産業	26	31	59	10	21	△ 5	31	62	7	24	3
	建設業	59	48	49	3	45	△ 14	52	45	3	49	4
	製造業	25	23	63	14	9	△ 16	23	68	9	14	5
	卸売･小売業	21	25	67	8	17	△ 4	26	66	8	18	1
	運輸業	27	40	54	6	34	7	37	54	9	28	△ 6
	サービス業	18	29	58	13	16	△ 2	28	65	7	21	5

（２）－①　道央（札幌市を除く）

今期の業況感ＢＳＩは △ 19（前期から 18 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･設備工事業（▲50→100）、木材・木製品製造業（0→100）
プラスチック製品製造業（▲100→0）、生産用機械器具製造業（▲100→0）、
放送業（▲100→0）、情報サービス業（▲100→0）、
持ち帰り・配達飲食サービス業（▲100→0）、
洗濯・理容・美容・浴場業（▲100→0）

主な下降業種･･･食料品製造業（0→▲25）、飲食料品卸売業（0→▲20）、
織物・衣服・身の回り品小売業（100→▲100）、物品賃貸業（0→▲20）、
職業紹介・労働者派遣業（0→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 23（今期から 4 ポイント下降）

図５－(2)－①　地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

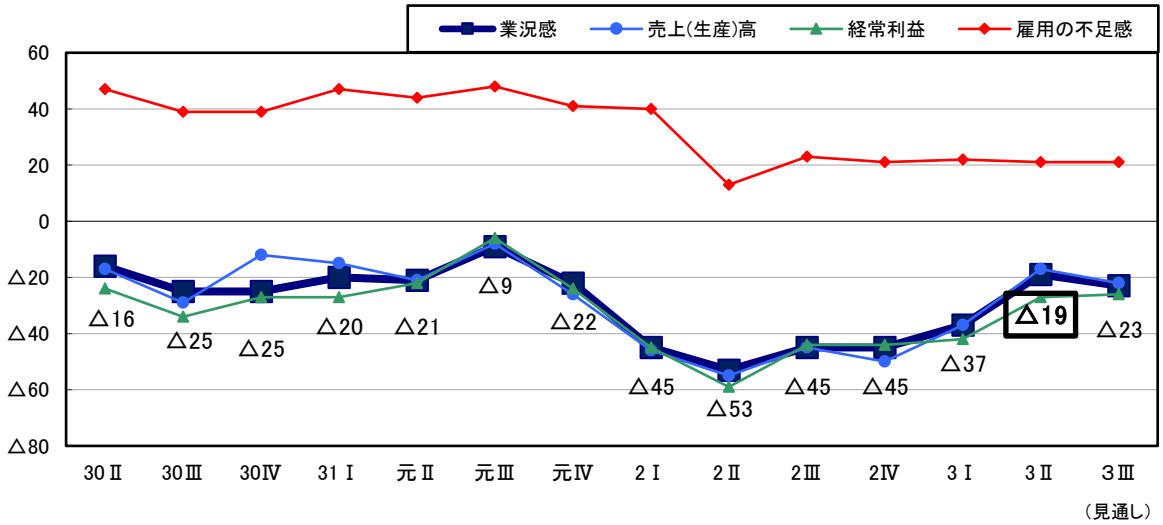


表５－(2)－①　地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区　分		R3年1-3月実績BSI	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 37	14	53	33	△ 19	18	8	61	31	△ 23	△ 4
	建設業	△ 23	6	63	31	△ 25	△ 2	0	56	44	△ 44	△ 19
	製造業	△ 23	24	56	20	4	27	8	76	16	△ 8	△ 12
	卸売･小売業	△ 28	19	31	50	△ 31	△ 3	4	60	36	△ 32	△ 1
	運輸業	△ 50	0	67	33	△ 33	17	10	76	14	△ 4	29
	サービス業	△ 50	14	55	31	△ 17	33	13	47	40	△ 27	△ 10
売上（生産）高	全産業	△ 37	17	49	34	△ 17	20	11	56	33	△ 22	△ 5
	建設業	△ 29	6	63	31	△ 25	4	0	56	44	△ 44	△ 19
	製造業	△ 24	31	42	27	4	28	12	73	15	△ 3	△ 7
	卸売･小売業	△ 25	23	27	50	△ 27	△ 2	12	48	40	△ 28	△ 1
	運輸業	△ 55	0	67	33	△ 33	22	10	66	24	△ 14	19
	サービス業	△ 49	17	52	31	△ 14	35	14	46	40	△ 26	△ 12
経常利益	全産業	△ 42	13	47	40	△ 27	15	11	52	37	△ 26	1
	建設業	△ 35	6	50	44	△ 38	△ 3	0	37	63	△ 63	△ 25
	製造業	△ 28	27	46	27	0	28	12	69	19	△ 7	△ 7
	卸売･小売業	△ 46	15	35	50	△ 35	11	8	48	44	△ 36	△ 1
	運輸業	△ 50	5	62	33	△ 28	22	14	57	29	△ 15	13
	サービス業	△ 49	10	47	43	△ 33	16	14	48	38	△ 24	9
雇用者の不足感	全産業	22	32	57	11	21	△ 1	30	61	9	21	0
	建設業	59	50	44	6	44	△ 15	50	44	6	44	0
	製造業	28	19	69	12	7	△ 21	19	73	8	11	4
	卸売･小売業	7	23	65	12	11	4	20	68	12	8	△ 3
	運輸業	27	38	57	5	33	6	38	57	5	33	0
	サービス業	10	34	51	15	19	9	32	58	10	22	3

（２）－ ②　道央（札幌市）

今期の業況感ＢＳＩは　△13（前期から 17 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･食料品製造業（▲100→0）、汎用機械飲食料品卸売業（▲100→0）、
道路旅客運送業（▲100→33）、道路貨物運送業（▲100→▲20）、
洗濯・理容・美容・浴場業（▲100→0）、
その他の生活関連サービス業、（▲75→0）

主な下降業種･･･家具・装備品製造業（0→▲100）、プラスチック製品製造業（0→▲100）、
電気機械器具製造業（0→▲100）、飲食料品卸売業（100→0）、
通信業（0→▲50）、広告業（100→▲50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 13（今期から横ばい）

図５－(2)－②　地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

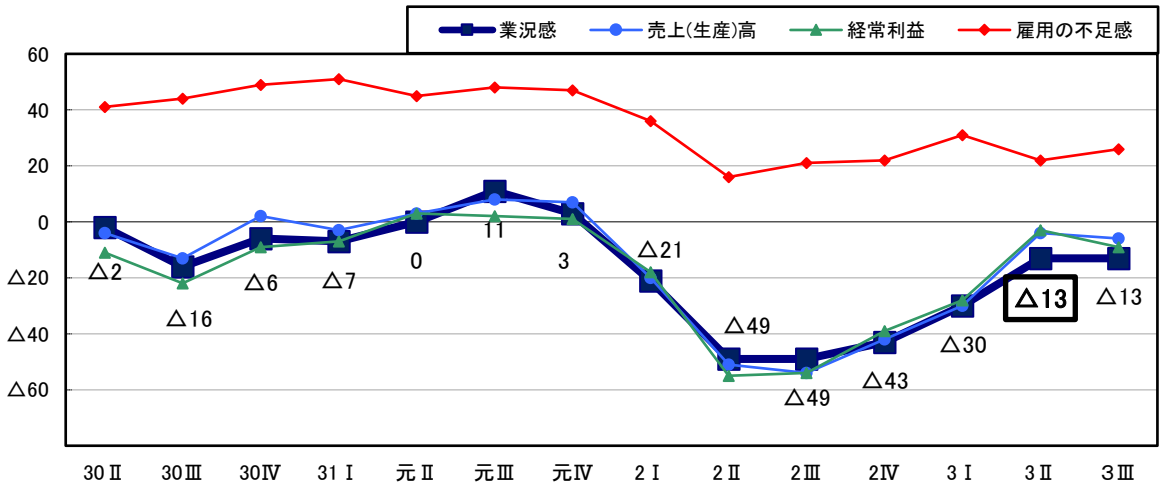


表５－(2)－②　地域別BSI【道央（札幌市）】

区　分		R3年1-3月実績BSI	R3年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 30	16	55	29	△ 13	17	11	65	24	△ 13	0
	建設業	△ 6	0	82	18	△ 18	△ 12	0	76	24	△ 24	△ 6
	製造業	△ 50	6	44	50	△ 44	6	6	61	33	△ 27	17
	卸売･小売業	4	40	28	32	8	4	20	56	24	△ 4	△ 12
	運輸業	△ 60	29	42	29	0	60	36	50	14	22	22
	サービス業	△ 40	9	67	24	△ 15	25	5	71	24	△ 19	△ 4
売上（生産）高	全産業	△ 30	26	44	30	△ 4	26	17	60	23	△ 6	△ 2
	建設業	0	6	76	18	△ 12	△ 12	6	70	24	△ 18	△ 6
	製造業	△ 45	11	33	56	△ 45	0	22	39	39	△ 17	28
	卸売･小売業	0	60	20	20	40	40	24	60	16	8	△ 32
	運輸業	△ 73	29	35	36	△ 7	66	43	43	14	29	36
	サービス業	△ 40	22	49	29	△ 7	33	9	67	24	△ 15	△ 8
経常利益	全産業	△ 28	26	45	29	△ 3	25	14	63	23	△ 9	△ 6
	建設業	△ 11	6	59	35	△ 29	△ 18	0	71	29	△ 29	0
	製造業	△ 55	11	39	50	△ 39	16	17	44	39	△ 22	17
	卸売･小売業	10	52	24	24	28	18	16	60	24	△ 8	△ 36
	運輸業	△ 67	21	36	43	△ 22	45	43	43	14	29	51
	サービス業	△ 33	25	55	20	5	38	9	73	18	△ 9	△ 14
雇用者の不足感	全産業	31	31	60	9	22	△ 9	32	62	6	26	4
	建設業	59	47	53	0	47	△ 12	53	47	0	53	6
	製造業	20	28	55	17	11	△ 9	28	61	11	17	6
	卸売･小売業	34	28	68	4	24	△ 10	32	64	4	28	4
	運輸業	27	43	50	7	36	9	36	50	14	22	△ 14
	サービス業	25	25	64	11	14	△ 11	25	70	5	20	6

（３）道北

今期の業況感ＢＳＩは △ 21（前期から 12 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･その他の製造業（▲100→0）、
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（0→67）、
道路貨物運送業（▲38→25）、洗濯・理容・美容・浴場業（▲67→50）、
その他の生活関連サービス業（▲100→100）、娯楽業（▲50→100）

主な下降業種･･･繊維・衣服等卸売業（0→▲100）、その他の小売業（0→▲100）、
自動車整備業（0→▲67）

来期の業況感ＢＳＩは △ 30（今期から 9 ポイント下降）

図５－(3) 地域別BSIの推移【道北】

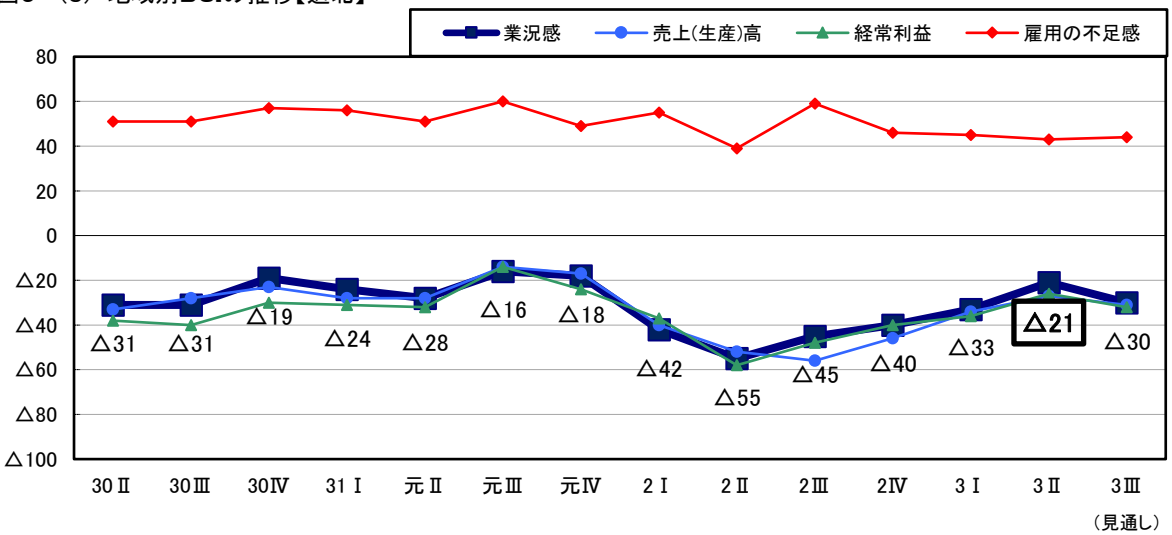


表５－(5) 地域別BSI（道北）

区 分		R3年 1-3月 実績BSI	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 33	16	47	37	△ 21	12	10	50	40	△ 30	△ 9
	建設業	△ 7	13	49	38	△ 25	△ 18	13	43	44	△ 31	△ 6
	製造業	△ 35	13	43	44	△ 31	4	0	65	35	△ 35	△ 4
	卸売･小売業	△ 7	22	45	33	△ 11	△ 4	19	50	31	△ 12	△ 1
	運輸業	△ 50	21	58	21	0	50	15	62	23	△ 8	△ 8
	サービス業	△ 52	14	45	41	△ 27	25	7	41	52	△ 45	△ 18
売上（生産）高	全産業	△ 34	16	41	43	△ 27	7	11	47	42	△ 31	△ 4
	建設業	8	13	37	50	△ 37	△ 45	13	37	50	△ 37	0
	製造業	△ 44	13	37	50	△ 37	7	6	59	35	△ 29	8
	卸売･小売業	△ 15	22	39	39	△ 17	△ 2	17	50	33	△ 16	1
	運輸業	△ 50	21	50	29	△ 8	42	15	62	23	△ 8	0
	サービス業	△ 50	14	41	45	△ 31	19	7	38	55	△ 48	△ 17
経常利益	全産業	△ 36	16	42	42	△ 26	10	11	46	43	△ 32	△ 6
	建設業	0	13	37	50	△ 37	△ 37	13	43	44	△ 31	6
	製造業	△ 50	13	43	44	△ 31	19	6	47	47	△ 41	△ 10
	卸売･小売業	△ 15	28	39	33	△ 5	10	17	50	33	△ 16	△ 11
	運輸業	△ 64	14	65	21	△ 7	57	15	62	23	△ 8	△ 1
	サービス業	△ 41	14	34	52	△ 38	3	7	38	55	△ 48	△ 10
雇用者の不足感	全産業	45	46	51	3	43	△ 2	46	52	2	44	1
	建設業	77	63	31	6	57	△ 20	63	37	0	63	6
	製造業	44	53	47	0	53	9	47	53	0	47	△ 6
	卸売･小売業	31	28	72	0	28	△ 3	24	76	0	24	△ 4
	運輸業	64	64	36	0	64	0	69	31	0	69	5
	サービス業	24	34	59	7	27	3	38	55	7	31	4

（４）オホーツク

今期の業況感ＢＳＩは △ 21（前期から 15 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･木材・木製品製造業（▲100→0）、
材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲33→0）、道路旅客運送業（▲100→67）、
情報サービス業（▲100→▲50）、宿泊業（▲100→20）

主な下降業種･･･設備工事業（100→0）、窯業・土石製品製造業（100→0）、
輸送用機械器具製造業（0→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 24 （今期から 3 ポイント下降）

図５－(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

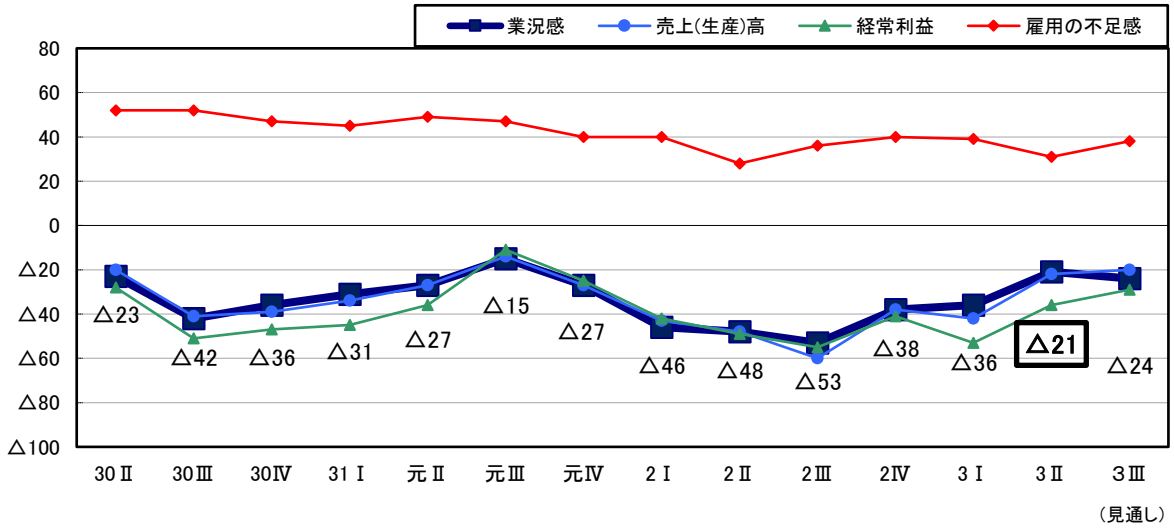


表５－(6) 地域別BSI(オホーツク)

区 分		R3年1-3月実績BSI	R3年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 36	8	63	29	△ 21	15	8	60	32	△ 24	△ 3
	建設業	18	0	91	9	△ 9	△ 27	0	64	36	△ 36	△ 27
	製造業	△ 27	0	71	29	△ 29	△ 2	8	69	23	△ 15	14
	卸売･小売業	△ 31	15	54	31	△ 16	15	8	61	31	△ 23	△ 7
	運輸業	△ 75	0	55	45	△ 45	30	0	55	45	△ 45	0
	サービス業	△ 57	18	53	29	△ 11	46	18	53	29	△ 11	0
売上（生産）高	全産業	△ 42	14	50	36	△ 22	20	14	52	34	△ 20	2
	建設業	△ 9	9	73	18	△ 9	0	0	45	55	△ 55	△ 46
	製造業	△ 9	7	64	29	△ 22	△ 13	21	65	14	7	29
	卸売･小売業	△ 39	23	31	46	△ 23	16	15	54	31	△ 16	7
	運輸業	△ 75	9	46	45	△ 36	39	9	55	36	△ 27	9
	サービス業	△ 67	18	41	41	△ 23	44	19	43	38	△ 19	4
経常利益	全産業	△ 53	3	58	39	△ 36	17	9	53	38	△ 29	7
	建設業	△ 9	0	73	27	△ 27	△ 18	0	27	73	△ 73	△ 46
	製造業	△ 30	0	64	36	△ 36	△ 6	7	79	14	△ 7	29
	卸売･小売業	△ 54	15	39	46	△ 31	23	8	54	38	△ 30	1
	運輸業	△ 83	0	55	45	△ 45	38	0	64	36	△ 36	9
	サービス業	△ 73	0	59	41	△ 41	32	25	37	38	△ 13	28
雇用者の不足感	全産業	39	37	57	6	31	△ 8	41	56	3	38	7
	建設業	64	64	36	0	64	0	64	36	0	64	0
	製造業	64	36	64	0	36	△ 28	43	57	0	43	7
	卸売･小売業	23	23	77	0	23	0	23	77	0	23	0
	運輸業	50	36	55	9	27	△ 23	36	55	9	27	0
	サービス業	7	31	50	19	12	5	43	50	7	36	24

（５）十勝

今期の業況感ＢＳＩは △ 11 （前期から 19 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･食料品製造業（▲25→20）、木材・木製品製造業（0→100）、
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲100→0）、
技術サービス業（▲67→0）、宿泊業（▲34→57）

主な下降業種･･･飲食料品卸売業（0→▲67）、道路貨物運送業（0→▲14）
運輸に付属するサービス業（0→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 25 （今期から 14 ポイント下降）

図５－(5) 地域別BSIの推移【十勝】

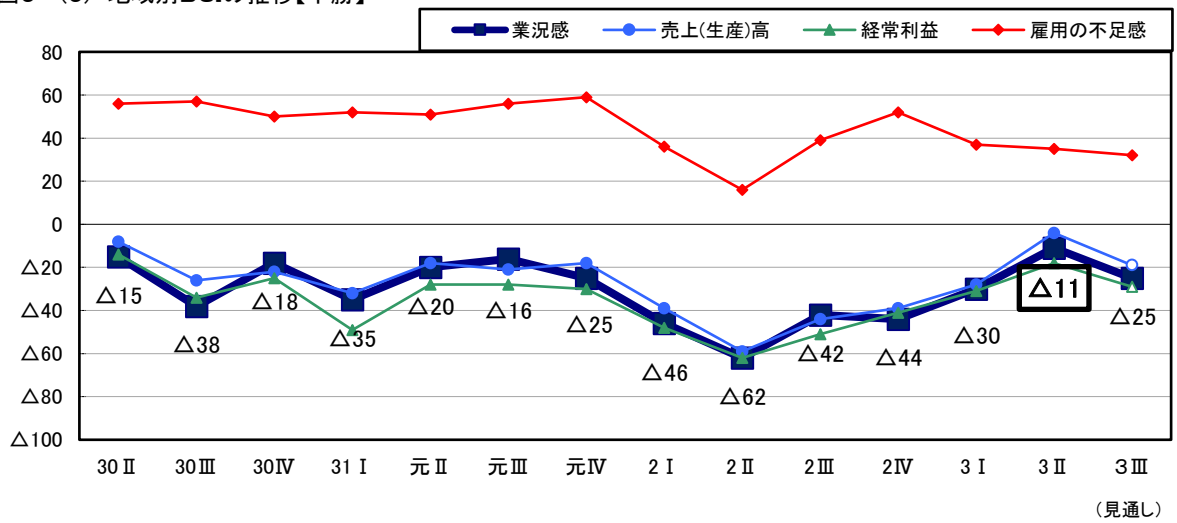


表５－(7) 地域別BSI（十勝）

区 分		R3年1-3月実績BSI	R3年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 30	16	57	27	△ 11	19	8	59	33	△ 25	△ 14
	建設業	△ 9	0	80	20	△ 20	△ 11	10	70	20	△ 10	10
	製造業	△ 54	25	25	50	△ 25	29	17	33	50	△ 33	△ 8
	卸売･小売業	△ 9	17	50	33	△ 16	△ 7	0	50	50	△ 50	△ 34
	運輸業	△ 25	0	70	30	△ 30	△ 5	0	60	40	△ 40	△ 10
	サービス業	△ 40	26	63	11	15	55	11	73	16	△ 5	△ 20
売上（生産）高	全産業	△ 28	25	46	29	△ 4	24	16	49	35	△ 19	△ 15
	建設業	△ 9	0	90	10	△ 10	△ 1	20	60	20	0	10
	製造業	△ 39	33	17	50	△ 17	22	25	17	58	△ 33	△ 16
	卸売･小売業	△ 17	42	25	33	9	26	8	42	50	△ 42	△ 51
	運輸業	△ 25	20	40	40	△ 20	5	10	50	40	△ 30	△ 10
	サービス業	△ 40	26	58	16	10	50	16	68	16	0	△ 10
経常利益	全産業	△ 31	19	44	37	△ 18	13	11	49	40	△ 29	△ 11
	建設業	△ 18	0	90	10	△ 10	8	20	50	30	△ 10	0
	製造業	△ 47	17	16	67	△ 50	△ 3	8	34	58	△ 50	0
	卸売･小売業	△ 8	33	34	33	0	8	0	50	50	△ 50	△ 50
	運輸業	△ 33	10	50	40	△ 30	3	0	60	40	△ 40	△ 10
	サービス業	△ 40	26	42	32	△ 6	34	21	53	26	△ 5	1
雇用者の不足感	全産業	37	40	55	5	35	△ 2	34	64	2	32	△ 3
	建設業	36	50	50	0	50	14	30	70	0	30	△ 20
	製造業	15	17	83	0	17	2	17	83	0	17	0
	卸売･小売業	67	42	58	0	42	△ 25	42	58	0	42	0
	運輸業	67	78	22	0	78	11	67	33	0	67	△ 11
	サービス業	15	32	52	16	16	1	26	69	5	21	5

（６）釧路・根室

今期の業況感ＢＳＩは △ 16（前期から 25 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･食料品製造業（▲100→0）、繊維・衣服等卸売業（▲100→0）、
道路旅客運送業（▲100→33）、宿泊業（▲66→33）、
飲食店（▲100→50）、職業紹介・労働者派遣業（▲100→0）

主な下降業種･･･設備工事業（0→▲100）、飲料・たばこ・飼料製造業（50→0）、
技術サービス業（50→0）、洗濯・理容・美容・浴場業（▲50→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 23（今期から 7 ポイント下降）

図５－(6) 地域別BSIの推移【釧路･根室】

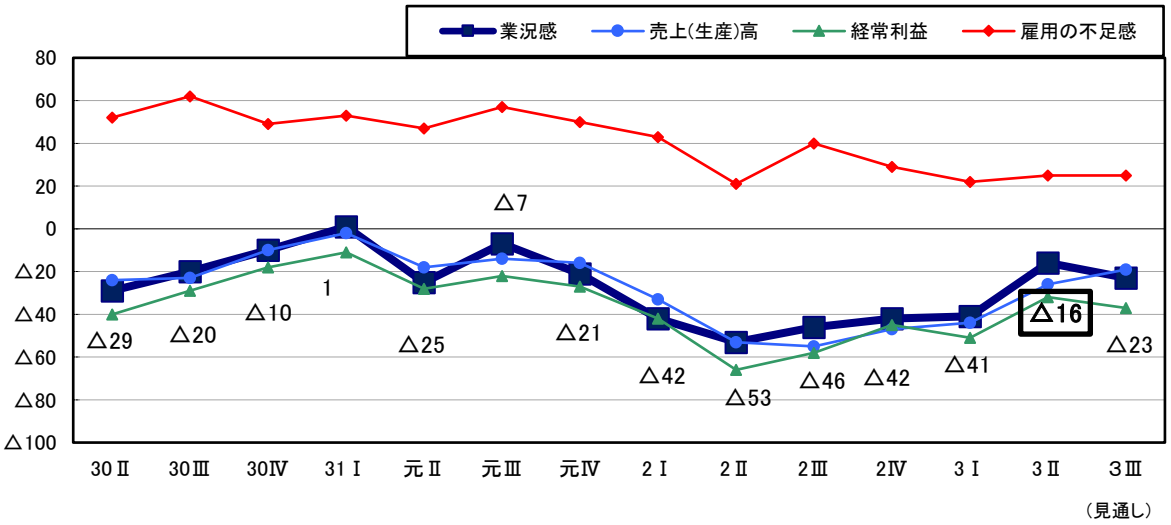


表５－(8) 地域別BSI(釧路･根室)

区 分		R3年1-3月実績BSI	R3年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 41	14	56	30	△ 16	25	9	59	32	△ 23	△ 7
	建設業	△ 44	0	50	50	△ 50	△ 6	0	60	40	△ 40	10
	製造業	△ 25	10	70	20	△ 10	15	10	60	30	△ 20	△ 10
	卸売･小売業	△ 30	11	67	22	△ 11	19	0	56	44	△ 44	△ 33
	運輸業	△ 58	18	46	36	△ 18	40	20	60	20	0	18
	サービス業	△ 43	24	52	24	0	43	12	59	29	△ 17	△ 17
売上（生産）高	全産業	△ 44	11	52	37	△ 26	18	14	53	33	△ 19	7
	建設業	△ 56	0	40	60	△ 60	△ 4	0	40	60	△ 60	0
	製造業	△ 25	10	70	20	△ 10	15	20	50	30	△ 10	0
	卸売･小売業	△ 30	11	56	33	△ 22	8	0	67	33	△ 33	△ 11
	運輸業	△ 59	9	46	45	△ 36	23	9	73	18	△ 9	27
	サービス業	△ 50	18	53	29	△ 11	39	29	42	29	0	11
経常利益	全産業	△ 51	11	46	43	△ 32	19	9	45	46	△ 37	△ 5
	建設業	△ 44	10	50	40	△ 30	14	0	40	60	△ 60	△ 30
	製造業	△ 42	10	50	40	△ 30	12	10	50	40	△ 30	0
	卸売･小売業	△ 30	11	45	44	△ 33	△ 3	0	56	44	△ 44	△ 11
	運輸業	△ 75	9	46	45	△ 36	39	9	46	45	△ 36	0
	サービス業	△ 56	13	43	44	△ 31	25	19	37	44	△ 25	6
雇用者の不足感	全産業	22	30	65	5	25	3	30	65	5	25	0
	建設業	11	30	70	0	30	19	30	70	0	30	0
	製造業	25	10	90	0	10	△ 15	10	90	0	10	0
	卸売･小売業	20	33	56	11	22	2	33	56	11	22	0
	運輸業	18	45	46	9	36	18	55	36	9	46	10
	サービス業	32	29	65	6	23	△ 9	24	70	6	18	△ 5

６　道内の景況感

今期の道内の景況感ＢＳＩは △ 49（前期から４ポイント上昇）

・業種別にみると、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道南、道央、道北、釧路・根室でマイナス幅が縮小、オホーツク、十勝でマイナス幅が拡大

来期の道内の景況感ＢＳＩは △ 30（今期から 19 ポイント上昇）

図6　道内の景況感

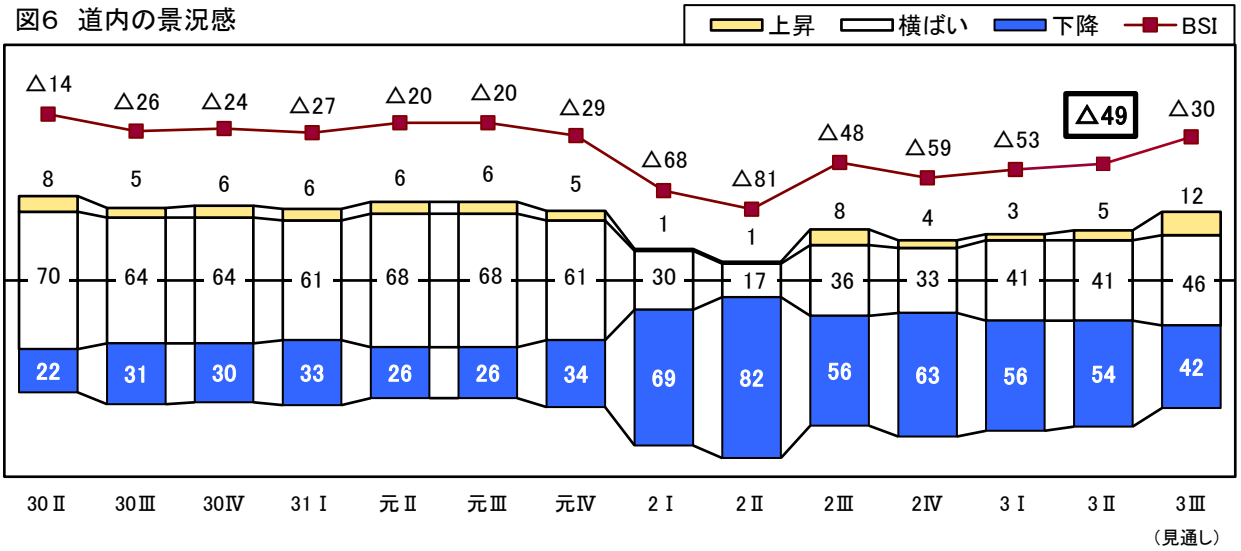


表6　道内の景況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年1-3月実績	R3年4-6月実績					R3年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 53	5	41	54	△ 49	4	12	46	42	△ 30	19
	札幌市を除く	△ 54	5	40	55	△ 50	4	11	45	44	△ 33	17
	札幌市	△ 48	5	47	48	△ 43	5	16	48	36	△ 20	23
業種	建設業	△ 42	4	44	52	△ 48	△ 6	7	43	50	△ 43	5
	製造業	△ 56	4	41	55	△ 51	5	10	50	40	△ 30	21
	卸売･小売業	△ 48	9	36	55	△ 46	2	12	44	44	△ 32	14
	運輸業	△ 61	5	41	54	△ 49	12	15	50	35	△ 20	29
	サービス業	△ 57	5	43	52	△ 47	10	15	44	41	△ 26	21
資本金	5千万円未満	△ 57	6	37	57	△ 51	6	12	42	46	△ 34	17
	5千万以上～1億円未満	△ 46	6	47	47	△ 41	5	15	47	38	△ 23	18
	1億円以上	△ 41	1	51	48	△ 47	△ 6	12	61	27	△ 15	32
地域	道南	△ 62	9	43	48	△ 39	23	4	58	38	△ 34	5
	道央	△ 49	5	44	51	△ 46	3	14	49	37	△ 23	23
	札幌市を除く	△ 52	4	42	54	△ 50	2	12	50	38	△ 26	24
	札幌市	△ 48	5	47	48	△ 43	5	16	48	36	△ 20	23
	道北	△ 53	8	36	56	△ 48	5	9	45	46	△ 37	11
	オホーツク	△ 55	3	34	63	△ 60	△ 5	11	38	51	△ 40	20
	十勝	△ 48	7	36	57	△ 50	△ 2	18	31	51	△ 33	17
	釧路･根室	△ 61	2	40	58	△ 56	5	14	42	44	△ 30	26

7　業種･圏域別企業経営者の声（令和3年 4-6 月）

【建設業】

道南	・当面の需要喚起を望む。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・他業種も交え、ワクチンの早期接種やリモートワークなどの課題の解決を図らなければ、業務に集中できない。（一般土木建築工事業） ・当社は建設業ですので、今のところコロナウイルスの影響での仕事が減少はあまりみられませんが、休業を余儀なくされている他業種の方々に対する補償を充分してほしいです。（土木工事業（舗装工事業を除く））
道央	・テレワークの推進でいきなり出社７割減を掲げても、ワクチン接種の予約が始まった際にデータの遅延や接続障害などの問題が発生したように、背景にあるインフラが弱ければ混乱を招くだけです。行政だけの問題ではありませんが、冷静な対応をお願いします。（総合建設業） ・新型コロナウイルスで先が見えませんが、経営においても、体質の見直しや改善を行い、時代の波に乗り遅れることなく、事業を行っていく所存です。また、価値観や行動様式の転換が起きたコロナ後の社会が早くくることを望みます。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・ウッドショックによる輸入木材の入手が困難な今こそ、道産木材の普及拡大の大チャンスだと思われます。道庁が主導で道産木材の流通を促進させてください。（建築工事業　（木造建築工事業を除く）） ・ワクチン接種を早く始めてほしい。（総合工事業） ・厚生労働省、国土交通省が連携して策定した第 10 次建設雇用改善計画を参考に、働き方改革の推進や生産性向上への取組に努めてまいりたく思います。建設産業を支える技能労働者の不足が深刻化している中、若年労働者等の確保・育成及び技能の継承が喫緊の課題となっており、これに向けた取組の重要性が極めて大きくなっていると受け止めております。（総合建設業）
道北	・建設業では、発注者側のテレワーク勤務などで協議や打合せなどに遅れが生じており、加えて資材納入の遅延などで予定通りに進行できない工事も発生している。また、業界全体として人員不足や休暇取得の推進による業務の遅延がみられる。こうした状況の改善策として、公共工事においては、手続きの簡素化・簡略化を行い、効率的で迅速な意思決定が可能となる仕組みを考えてほしい。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・アメリカ発の建築資材価格の高騰は、オイルショック時に次ぐ規模と速度で進んでいるため、公共調達のスライド条項適用を自治体へ義務付けられなければ、完全に請け負ける恐れが出てきている。国・道の関係部局から自治体への通達を望む。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・官公庁の安定した工事発注を望む。特に総合評価工事を増やしてほしい。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・地方自治体でも当初予算から減額された工事発注が数件あり、コロナ対策費の負担が増加していることが原因と思われるが、今後もこの傾向が続くと売上高に影響が出ることが予想される。また、建設業にかかわる人材不足が慢性化している中で、新卒者・中途採用の競争も激化している。建設業新規就労者に対する助成金など、就労しやすい環境づくりを行政サイドでも検討していただきたい。（土木工事業）
十勝	・現状では、飲食店に対する給付金などの支援はあるが、建設業に対する支援がない。今後、更に資材の高騰が予想され、非常に心配な状況であるため、建設業に対しても支援を望む。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・コロナ禍ではありますが、引き続き安定した公共工事の発注をお願いしたい。（土木工事業（舗装工事業を除く））

十勝	・新型コロナの影響により失業率が高まっている一方で、工事現場で働くスタッフ（土工、オペレーター、警備員）への応募はほとんどない状態なので、マッチングに協力願いたい。（土木工事業（舗装工事業を除く））
釧路・根室	・税金を徴収できるように仕事量を増やす努力をしていただきたい。企業努力だけでは雇用の維持に限界がある。特に、北海道は工事可能な時期が短く、冬場は不可能。（土木工事業（舗装工事業を除く））

【製造業】

道央	・コロナの長期化を見込んで、企業への財政支援に継続的に取り組んでほしい。（農業用機械製造業（農業用器具を除く）） ・我々の業界的にはコロナ禍の影響は少ないですが、これ以上長引くと計画の中止や縮小などの影響が出てくる可能性があります。需要的には今期が底と考えており、札幌駅周辺の再開発等のプロジェクトが動き出せば需要は回復し、数年は好調が見込めますが、新幹線開通後の 2030 年以降の動向が見えていません。冬季オリンピック誘致を是が非でも成功させ、今後の北海道内の経済活性化につなげてほしいです。（生コンクリート製造業） ・ワクチン接種を加速していただきたい。万が一感染した場合でも重症化のリスクが大幅に低減される旨を国民に周知することが必要と考えます。また、接種後の免疫期間について不安に思われている方が大多数かと思われますので、適切な情報発信により接種率を向上させていただきたい。（自動車・同附属品製造業） ・ワクチンの職域接種をしたいが、人数や打ち手の確保の問題で実施できない。（調味料製造業） ・今後業務の効率化を推進するにあたり、既存工場の増改築も必要となってくる可能性がありますので、設備投資に対する課税免除など、優遇策の情報提供をいただければありがたいです。（外衣・シャツ製造業（和式を除く）） ・ウッドショックといわれているが、林業・木材業界に対する需要の拡大があまりに急激過ぎて対応できない。（製材業，木製品製造業） ・コロナ罹患者の発生場所を詳細に公表してほしい。その情報をもとに、自身の対応をしっかり判断したい。守るべきものは、個人情報ではなく、人の命であると思います。（無機化学工業製品製造業） ・早くコロナを鎮めてほしい。経済を回さないと中小企業は潰れる。（家具製造業）
道北	・助成金などの資金的な支援の継続を望む。打ち切られれば、会社の存続自体を考えなければならない。（造作材・合板・建築用組立材料製造業）
オホーツク	・コロナが終息し、もとの生活に戻ることを期待する。（帆布製品製造業）
十勝	・需要喚起策の策定、補助金等の対策に期待したい。（建設用・建築用金属製品製造業（製缶板金業を含む））
釧路・根室	・やはりワクチン接種が大前提と思っていますので、早急に大多数の方が接種できるようにしてください。経済はそれによってついて来ると思っています。（製材業、木製品製造業）

【卸売・小売業】

道南	・感染の早期終息に向け、効果的な短期集中の対策を期待します。（自動車（新車）小売業） ・外出の機会が減っているので、全てにおいて買い物の機会が失われていると思う。（婦人・子供服小売業）
道央	・コロナ禍において、国・道ともに、国民や事業者の期待に全く応えていない。今後どのように社会や生活を立て直す考えなのかを示してほしい。（機械器具小売業（自動車，自転車を除く）） ・一刻も早いワクチン接種の実施をお願いします。（燃料小売業） ・建設業界では、８月以降にウッドショック問題が懸念されていおり、コロナ以上の影響があると考えている。（建築材料卸売業） ・早期にワクチン接種を行い、経済活動を復活させてほしい。（衣服卸売業） ・産学共同での北海道発の革新的技術開発を行うには、一中小商社の資金力では限界があるため、行政に有力な企業などの橋渡しをしていただき、事業化につなげたい。（衣服卸売業） ・観光客が戻ってくるような施策をお願いします。（婦人・日用雑貨小売業、紳士服洋品）
道北	・全道民がワクチンを接種し終えれば、業績の回復が期待できるので、早期の接種完了を望む。（他に分類されないその他の卸売業） ・前期は総売上は減少ですが、仕入の減少に対し、利益率が上昇し、経営としては苦しいと感じたことはなく、今期も肌感覚として資金繰り等の心配はしておりません。（飲食料品卸売業） ・経済活動が復活し、当面の売上が上がる方策を望む。（小売業（土産品）・ビル管理業務）
オホーツク	・ワクチンが早急に出回り、今より少しは安心して生活や業務が行えるようになりたいです。（農畜産物・水産物卸売業、不動産賃貸業） ・色々なイベント等が全くないため、売上が減少している。働く世代のワクチン接種が進まないので、働きに外出する時はいつも不安が付きまとっているため活気がない。全ての人のワクチン接種を一刻も早く目指してほしい。（金物小売業）
十勝	・緊急事態宣言の発令による外出自粛、ワクチン接種の遅れ、感染の長期化などにより、経営が深刻なダメージを受けている。国や行政の支援策により、なんとか１年以上持ちこたえてきたが、非常に厳しい局面を迎えている。感染は、あらゆる場所や場面で発生しており、特定の業種・業態を対象とする自粛要請のはやめてほしい。社会全体として、徹底した感染対策を行いながら、社会・経済活動を回すというスタイルを確立しなければ、社会全体が限界に達するだろう。（百貨店・総合スーパー） ・ガソリンスタンドに給油に来る地方や本州ナンバーの車のお客様がマスクをつけないでそのまま話したり、トイレに行ったりしている。もう少し従業員のことを考えてくれてもいいのではないかと思います。文句を言われそうなので注意することもできません。（ガソリンスタンド）
釧路・根室	・半導体不足による車両の納期の長期化が課題です。（自動車小売業、自動車整備業） ・コロナ後の経営は、経営環境が大きく変わることを覚悟しなくてはならない。（衣服卸売業）

【運輸業】

道南	・コロナワクチン接種を迅速に進めてほしい。（内陸水運業） ・観光業も事業の一部として営んでいますが、今回の緊急事態宣言発令によりかなりのダメージを受けることになりました。今までの感染予防対策の甘さが招いた事態ではないでしょうか。国・自治体はもっと強力な感染予防対策を取らなければならないのではないでしょうか。このままでは、会社の体力も限界です。（倉庫業） ・今後、コロナの状況が回復した時の対応が問題と思われます。（一般貨物自動車運送業）
道央	・軽油の価格が高い。（一般貨物自動車運送業） ・緊急事態宣言の発令により夜の飲食店が休業したため、当社の売上も減少している。飲食店だけではなく、様々な業種の支援を検討していただきたい。（一般乗用旅客自動車運送業） ・初めての取組なので、ある程度ミスなどが起こるのは理解できますが、他の自治体で起きたミスを教訓として国全体で検証を行いながら、円滑にワクチン接種をすすめて、通常業務に戻れるようにしてほしいです。（一般貨物自動車運送業） ・支援金などの助成の拡充と、緊急事態宣言が今後は発令されることのないよう進めていただきたい。（一般乗用旅客自動車運送業） ・ドライバー不足が深刻。（一般貨物自動車運送業） ・コロナワクチンの職域接種拡大支援を望む。（倉庫業） ・ワクチン接種の早期完了を期待している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息まで雇用調整助成金の特例期間の延長を望む。（一般貸切旅客自動車運送業） ・経済と感染予防の両立は、現実的には無理だと思います。まずは、ワクチンを希望者全員が１日も早く打てるよう最善を尽くしていただきたいです。経済を回すのはその後だと思います。（倉庫業、運送業） ・大変ですが、頑張ります。事業継続こそが最大の目標です。（一般貸切旅客自動車運送業）
道北	・軽油の価格が上昇しているので、利益を出すのが難しい。（一般貨物自動車運送業） ・緊急事態宣言の発出により、回復基調が昨年並みに落ち込み、今年度も昨年同様、非常に厳しい状況になると思われることから、昨年度と同等かそれ以上の支援をお願いしたい。なお、コロナ以前まで回復するのには、複数年を要するのではないかと危惧しており、支援金等の継続をお願いしたい。（一般乗合旅客自動車運送事業）
オホーツク	・助成金の拡充を望む。（一般乗用旅客自動車運送業） ・経済活動の復旧を行うために、ワクチン接種を早急にすすめていただきたいと思います。（一般乗用旅客自動車運送業） ・経営面での当面の課題は、トラック運転手の高齢化と若年者不足の解消であり、当社の所在する地方都市では特に人材が不足しています。法改正による「標準的な運賃告知制度」で、ドライバーの労働条件改善等の取組がなされてきているものの、大手企業を除いては、職業としてトラック運転手を希望する若者は多くはないと思われますので、行政には効果的な施策を期待したいところです。（一般貨物自動車運送業）
十勝	・早急に社会が正常化するようワクチン接種を迅速に進めていただきたい。（港湾運送業） ・社員の高齢化対策、事業承継などが課題です。（一般貨物自動車運送業）
釧路・根室	・新型コロナウイルスの影響による売上減少への補助や助成に関して、間接的に影響のある業種も支援が受けられるように門戸を広げてほしい。また、大変辛い状況がまだ続くと思われますので、消費税の中間納付を延滞税無しで停止ができるようにお願いしたい。（一般貨物自動車運送業） ・昨年１月に新しい船を造り、人員も補強しましたが、１年以上も定員の半分での営業もしくは休業している状況が続き、返済もある中、大変苦しい状況です。（沿海海運業）

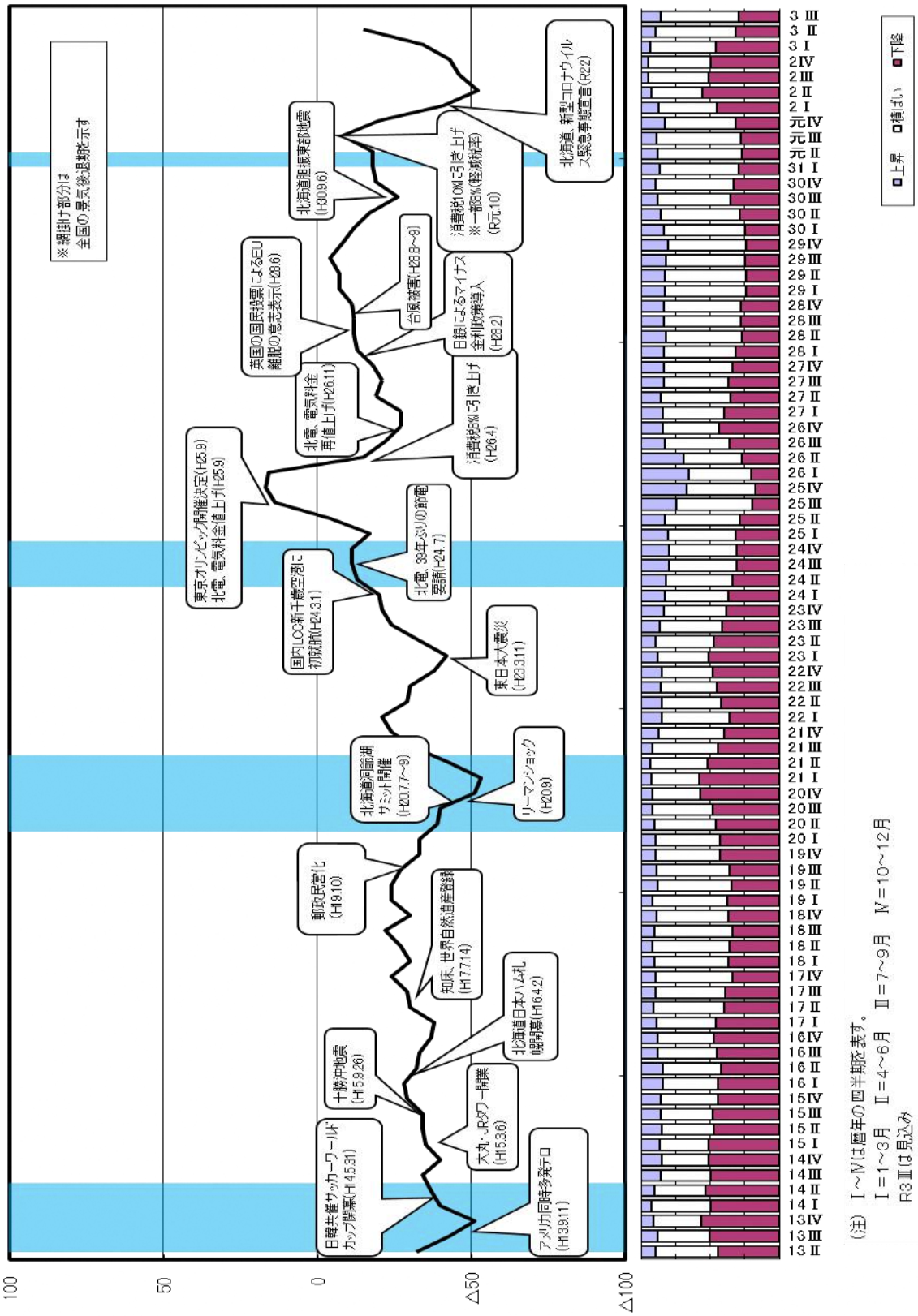
釧路・根室	・当社は、一般乗合バス、高速バス、定期観光バス、貸切バスを運行しており、観光客や出張者など人の動きがないと収入に結び付かない業態のため、現在停滞しているワクチン接種をスピード感を持って進めていただきたい。（一般乗合旅客自動車運送業） ・慢性的な人材不足であることは変わりません。零細企業、不人気職種は若手の採用やその育成は困難であり、5～10 年以内に現在の労働者がリタイアすると、現在の人員が半減してしまい、会社自体の事業も困難を極めていく可能性があると危惧しております。（一般貨物自動車運送業）

【サービス業】

道南	・まずは早期のワクチン接種に向けた対応策を期待します。人の移動が減少傾向となり、今後しばらくは回復が見込めない状況が続くと思われるので、コロナウイルスが落ち着いてきた段階で、有効な活性化対策をお願いします。（電気通信に附帯するサービス業） ・コロナが完全収束するまでの間、今まで以上の緊急体制が必要と思われる。迅速なワクチン接種を望む。（測量業） ・業種によって貸付金利が差別されるのはおかしい。（旅館・ホテル） ・支援金の拡充、増額、手続きの簡略化。高齢者以外の国民への早急なワクチン接種。（旅館・ホテル） ・ＧｏＴｏトラベルやどうみん割などの施策について、事業者に知らされるよりも先に公に発信されてしまうと対応に困るので、事業者への迅速な情報提供をお願いします。（旅館・ホテル） ・どうみん割の早期復活を望む。（旅館・ホテル） ・後継者不足、過疎化が進み、見通しは暗い。（自動車整備業）
道央	・高齢者より若年層へのワクチン接種を強化すること。社員は 20 代から 60 代前半であり、この層にワクチン接種を進めるほうが結果として経済活性化しやすいのでは。（警備業） ・紙媒体の衰退のため、ＷＥＢや動画事業にも取り組みたい。国や行政が推進のための指導などをしてくれると事業の幅が広がる。（広告制作業） ・コロナの影響での倒産が現実味を帯びてきている。（労働者派遣業） ・行政のＡＩ化に期待する。（自動車整備業） ・１日も早いワクチン接種を望む。（専門料理店） ・希望する人が早いワクチンを接種できるようお願いします。また、観光業が復活するような支援策をお願いします。（自動車整備業） ・短期集中で１日でも早い国民全体のワクチン接種による生活活動制限の解除と医療態勢の拡充、治療薬の開発及び購入を望む。（旅館・ホテル） ・コロナが終息し、行事が普通に実施されることを願います。（美容業） ・今回の緊急事態宣言では、道は補償とセットで休業や時短営業を要請しているが、対象外の区域では給付金なしで同様の対応をせざるを得ないため、当社も今年が我慢の限界と思われる。（スポーツ施設提供業） ・緊急事態宣言、まん延防止等を実施するならば、その影響を受ける業態すべてに、せめて家賃相当額等の支援金等を支給するべき。（旅館・ホテル） ・雇用調整助成金コロナ特例の期間延長、助成金の拡大拡充と見直しを望む。特に飲食・宿泊業については、個人店は助成金で対処できる事業者も多いが、大規模事業者については、現行の助成金でだけでは店舗の存続が困難である。 ・10 代～20 代の子たちに向けたワクチン接種の推奨や感染リスク意識の向上を効果的な広報活動等により早急に進めていただきたい。（旅館・ホテル） ・コロナ禍で道内全体の景気の下降が長引かないように、投資促進に繋がる政策を積極的に行っていただきたいです。（産業用機械器具賃貸業）

道央	・正確な情報の提供を望む。（広告業） ・コロナ患者の減少を第一の課題にしてもらいたい。早期ワクチン接種もその１つ。その次に助成金等による企業の維持対策。景気浮揚策などは二の次で良い。（旅行業） ・ワクチン接種を早期に完了させていただきたい。（産業用機械器具賃貸業）
道北	・人材不足。求人をかけても集まらない状況が何年も続いている。（警備業） ・ＧｏＴｏトラベル事業のような観光需要の喚起策や各種助成金の継続を期待しています。（旅館・ホテル） ・コロナウイルスにより売上減少が続いておりますが、業種が支援対象外となっており、何の支援も受けられません。税金は支援業種と同様に納付しているのに、納得できません。（旅館・ホテル） ・古いホテルなので、備品の新調や客室の修繕などの経費がかかりますが、売上が減少し続けており、今後の予約も全く入らないので事業を続けられるか不安です。宿泊したくなる様なサービスを模索していますが、現在は外出自粛制限中なので売上が上がらず、新規の投資は難しいです。売上を出すために、将来的には業務を機械化することも視野に入れる必要があると考えています。行政に期待することとしては、中小企業が新型コロナウイルス感染拡大の影響下でも、感染の予防になって業務の合理化ができる、といった方向転換がしやすい様なものに支援をしてもらいたいと思います。テレワークが出来ない業種は特に必要かと思います。（旅館・ホテル）
オホーツク	・感染拡大阻止にむけた取組に期待している。観光需要の減少に対する支援は５年程度は続けてもらいたい。資金繰りに対する無利子融資などの支援もお願いします。（旅行業） ・コロナの状況が落ち着いた際には、ＧｏＴｏトラベルのような施策を期待します。（旅館・ホテル） ・インバウンドの増加が必要。（専門料理店（日本料理店）） ・公共事業を増やし、多くの人が働く場を作ってほしい。（技術サービス業（他に分類されないもの）） ・事業継続すべきか否かを思案する状況になっています。借入も膨大となり、返済の目途も立たないため、追加借入にも踏み出せない状況です。資金の流出が続く現状では、金融機関にもローンの対応をしてもらえません。（旅館・ホテル）
十勝	・同一労働同一賃金の定めにより、今年の４月から嘱託職員と臨時職員にも諸手当を支給しているため、その分の収益確保が課題となっています。（土木建築サービス業（建築設計業））
釧路・根室	・支援策がなにもないので、なんとかしてほしい。（美容業） ・ブライダル業界は、飲食が伴うため、延期・キャンセルが相次ぎ、先が見通せず不安です。（美容業） ・休業補償なども大事であるが、一時的な手当にすぎず、根本的な解決とはならない。それよりも先行き不安の解消に優先して取り組んでいただきたい。（旅館・ホテル） ・2020 年に事業継承を行ったので、今後の会社の将来に期待します。（建築設計業） ・融資返済の猶予を望む。（旅館・ホテル） ・コロナウイルス感染予防対策に国費予算が充当されている中で、次年度以降の公共事業予算の縮減が危惧される。公共事業に携わる事業者は、過去に政権交代で公共事業予算が大きく縮減され、その影響は従業員の高齢化と若手技術者不足等々、年齢バランスに大きく影響を与え、未だに回復が出来ない状況にあります。インフラ整備に携わる業界として、若者にも魅力ある長期的かつ安定した予算措置を強く求めます。（土木建築サービス業） ・コロナウイルスの影響でオリンピック関連事業が計画的に進まない。抜本的な対応をお願いします。（産業用機械器具賃貸業）

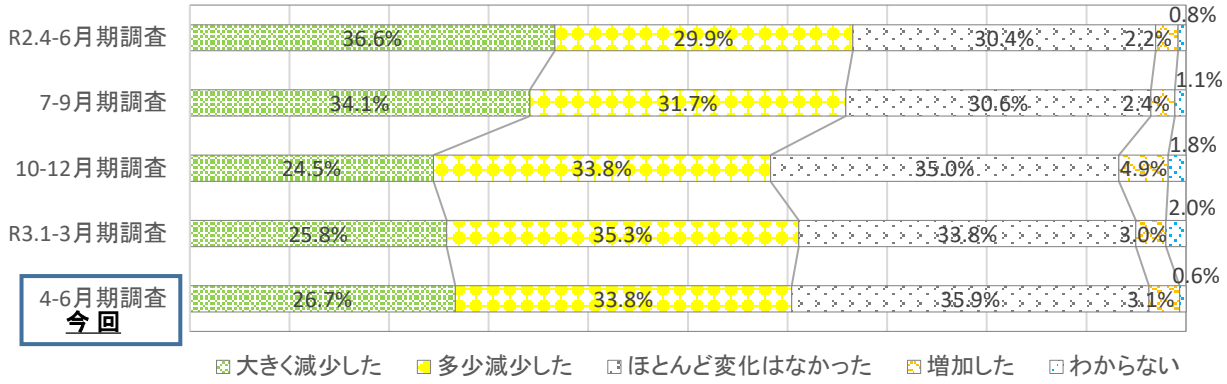
８　業況感の長期推移


※網掛け部分は
全国の景気後退期を示す
日韓共催サッカーワールドカップ開幕(H15.31)
十勝沖地震(H15.9.26)
郵政民営化(H19.10)
北海道洞爺湖サミット開催(H20.7.7～9)
国内LCC新千歳空港に初就航(H24.3.1)
東京オリンピック開催決定(H25.9)
北電、電気料金値上げ(H25.9)
英国の国民投票による EU離脱の意志表示(H28.6)
北海道胆振東部地震(H30.9.6)
北電、電気料金再値上げ(H26.11)
消費税8%に引き上げ(H26.4)
北電、33年ぶりの節電要請(H24.7)
東日本大震災(H23.3.11)
リーマンショック(H20.9)
知床、世界自然遺産登録(H17.7.14)
北海道日本ハム札幌開幕(H16.4.2)
大丸・JRタワー開業(H15.3.6)
アメリカ同時多発テロ(H13.9.11)
台風被害(H28.8～9)
日銀によるマイナス金利政策導入(H28.2)
消費税8%に引き上げ※一部8%(軽減税率)(R元.10)
北海道、新型コロナウイルス緊急事態宣言(R2.2)
100
50
0
△50
△100
3Ⅲ
3Ⅱ
3Ⅰ
2Ⅳ
2Ⅲ
2Ⅱ
2Ⅰ
元Ⅳ
元Ⅲ
元Ⅱ
31Ⅰ
30Ⅳ
30Ⅲ
30Ⅱ
30Ⅰ
29Ⅳ
29Ⅲ
29Ⅱ
29Ⅰ
28Ⅳ
28Ⅲ
28Ⅱ
28Ⅰ
27Ⅳ
27Ⅲ
27Ⅱ
27Ⅰ
26Ⅳ
26Ⅲ
26Ⅱ
26Ⅰ
25Ⅳ
25Ⅲ
25Ⅱ
25Ⅰ
24Ⅳ
24Ⅲ
24Ⅱ
24Ⅰ
23Ⅳ
23Ⅲ
23Ⅱ
23Ⅰ
22Ⅳ
22Ⅲ
22Ⅱ
22Ⅰ
21Ⅳ
21Ⅲ
21Ⅱ
21Ⅰ
20Ⅳ
20Ⅲ
20Ⅱ
20Ⅰ
19Ⅳ
19Ⅲ
19Ⅱ
19Ⅰ
18Ⅳ
18Ⅲ
18Ⅱ
18Ⅰ
17Ⅳ
17Ⅲ
17Ⅱ
17Ⅰ
16Ⅳ
16Ⅲ
16Ⅱ
16Ⅰ
15Ⅳ
15Ⅲ
15Ⅱ
15Ⅰ
14Ⅳ
14Ⅲ
14Ⅱ
14Ⅰ
13Ⅳ
13Ⅲ
13Ⅱ
■上昇　□横ばい　■下降
(注)　Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
Ⅰ＝1～3月　Ⅱ＝4～6月　Ⅲ＝7～9月　Ⅳ＝10～12月
R3Ⅲは見込み

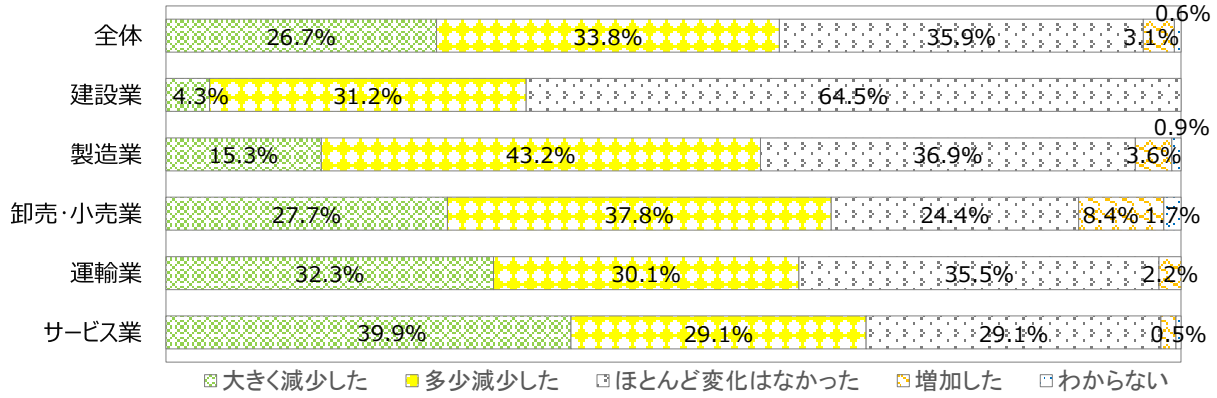
3　特別調査　～ 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による売上･利益等への影響の程度

・平年の同時期と比較した本年４－６月における売上･利益等への影響については、全体では「大きく減少した」と回答した企業の割合が 26.7%、「多少減少した」が 33.8%と、合わせて 60.5%の企業が「減少した」と回答しており、前回調査との比較では、「減少した」の割合は微減となっている。

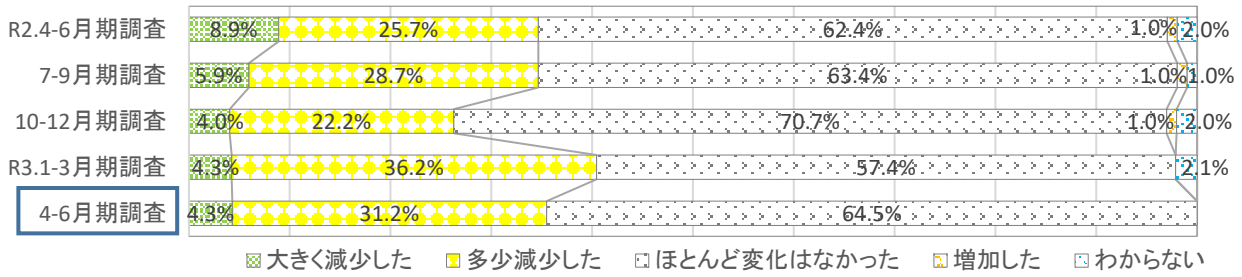


・業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、サービス業が 39.9%と最も大きく、次いで運輸業が 32.3%となっており、建設業が 4.3%と最も小さくなっている。

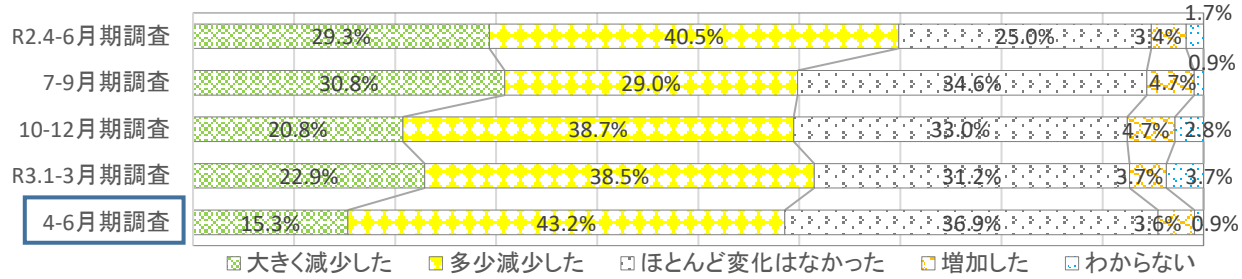


・「大きく減少した」と「多少減少した」を合わせた「減少した」の割合を前回調査と比較すると、卸売・小売業、サービス業で大きくなり、建設業、製造業、運輸業で小さくなっている。
・サービス業のうち、特に宿泊･旅行業や飲食業は、「大きく減少した」の割合が引き続き極めて大きくなっている。

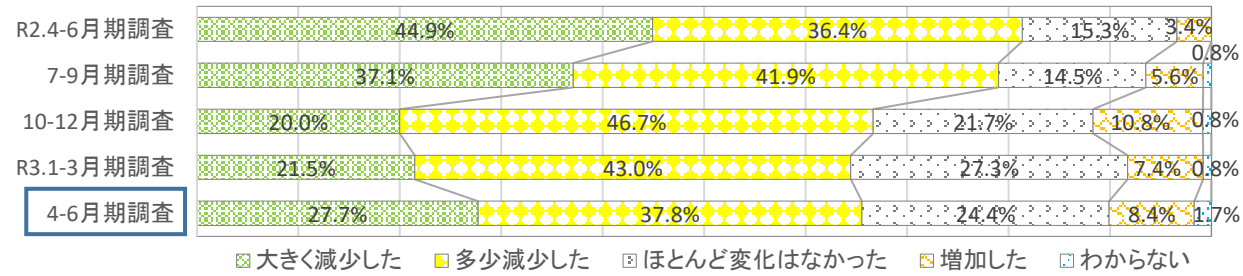
建 設 業



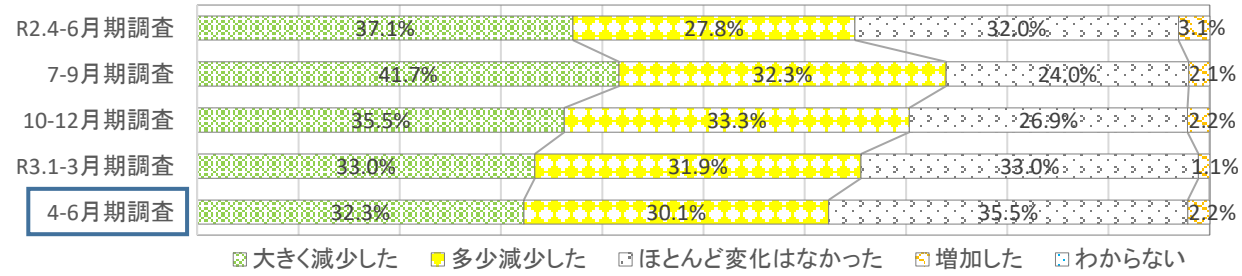
製 造 業



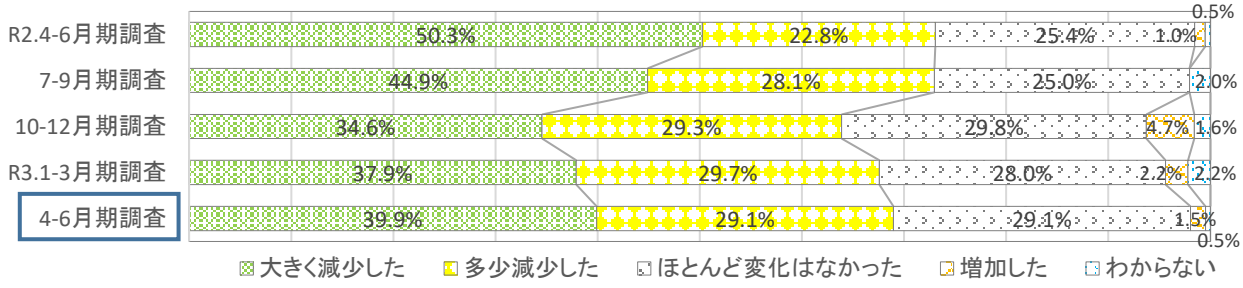
卸売・小売業



運 輸 業

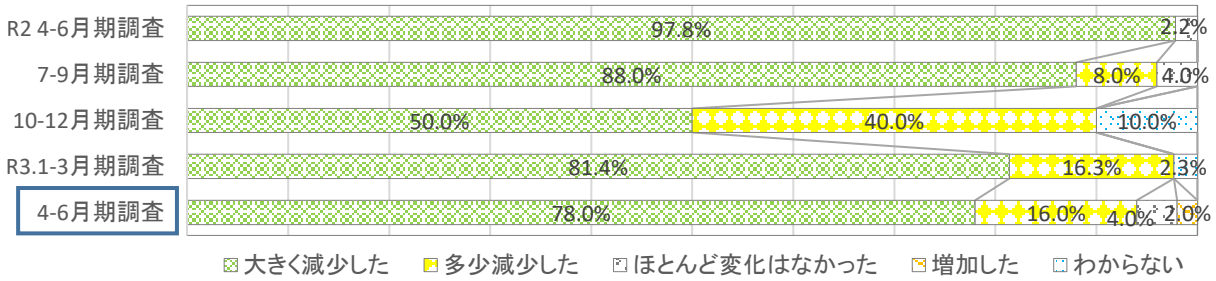


サービス業

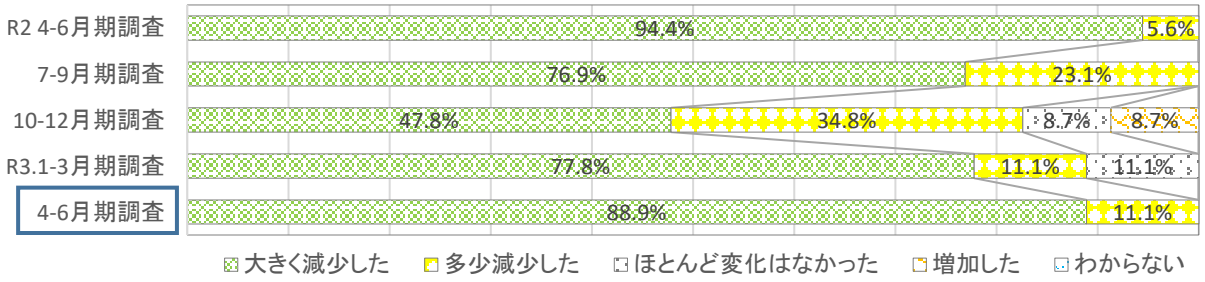


（サービス業のうち）

宿泊･旅行業



飲 食 業

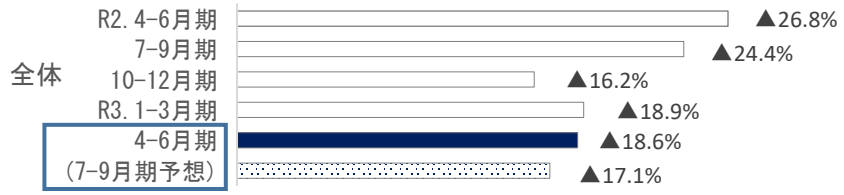


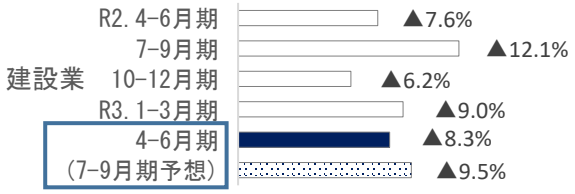
２　売上の平年同期比減少率

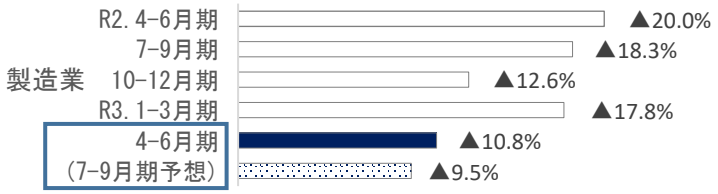
・令和３年４－６月の売上の平年同期比増減率は、全体平均では▲18.6%となり、業種別では、サービス業が▲29.4%と最も減少率が大きく、次いで運輸業が▲19.1%となっている。

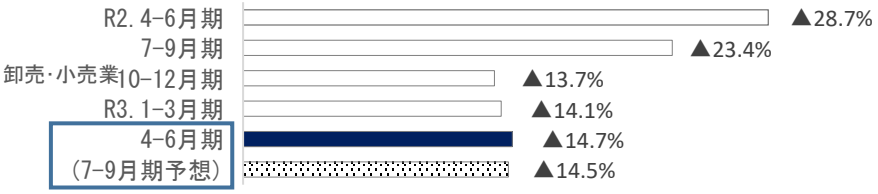
・前回調査との比較では、製造業が 7.0 ポイント、運輸業が 1.3 ポイント、建設業が 2.2 ポイントそれぞれ改善している一方、サービス業が 2.2 ポイント、卸売･小売業が 0.6 ポイントそれぞれ悪化し、全体で 0.3 ポイント改善している。

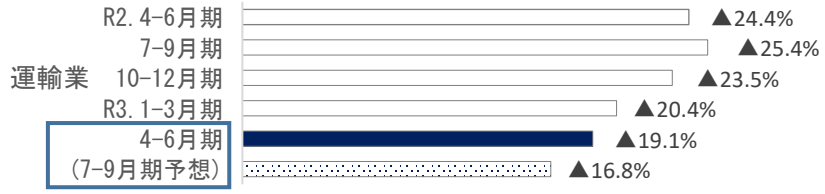
・７－９月期の予想は、サービス業などの改善により、全体で 1.5 ポイントの改善となっている。

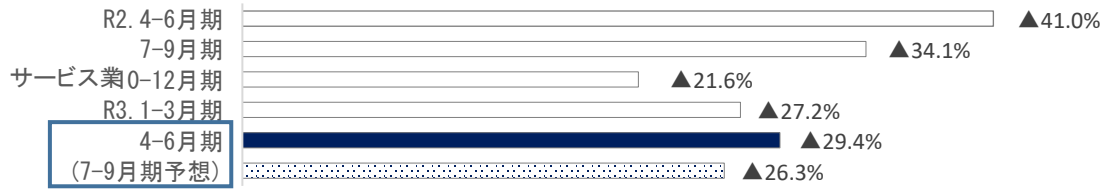








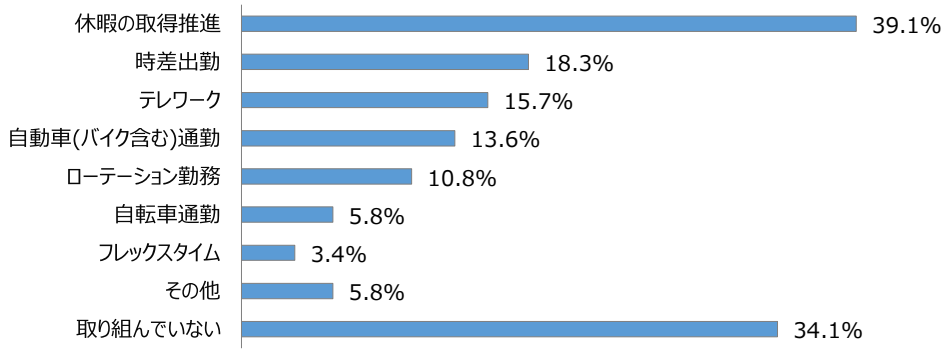




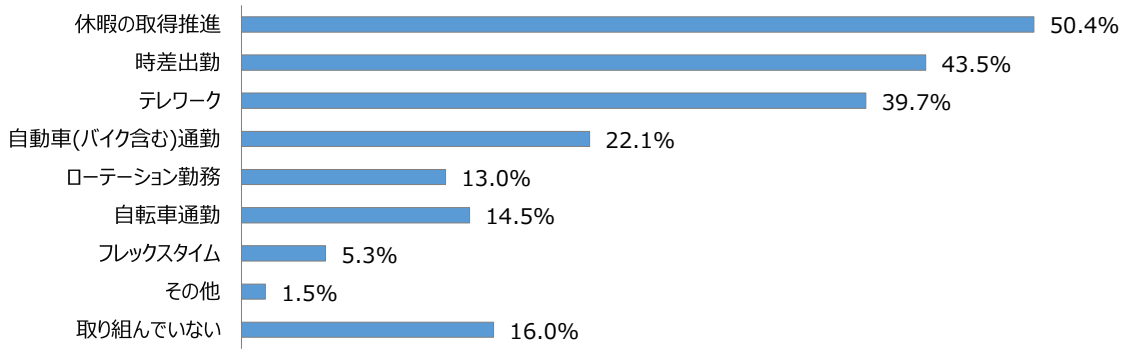
３　接触機会の低減策

・感染拡大を防止するための接触機会の低減策については、全体では 65.9%の企業が取り組んでいるとしており、業種別でみると、建設業が 72.0%と最も大きく、次いでサービス業が 70.4%、卸売･小売業が 65.5%となっている。

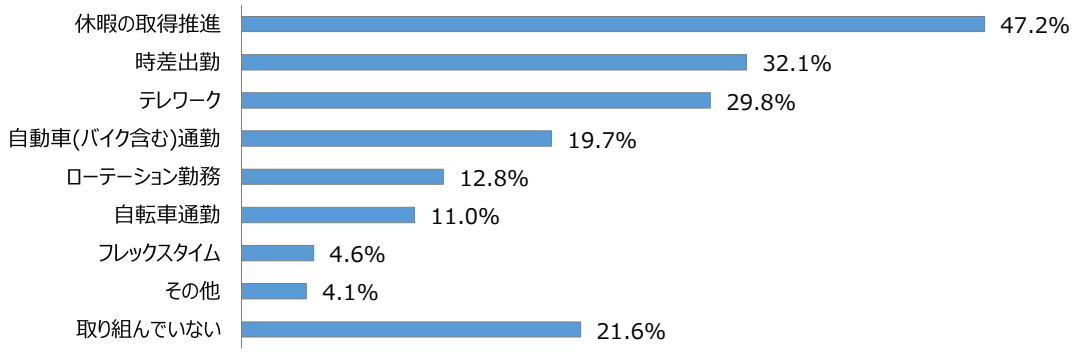
・取り組んでいる接触機会の低減策で最も多かった回答は、「休暇の取得推進」の 39.1%で、次いで「時差出勤」が 18.3%、「テレワーク」が 15.7%となっている。（複数回答）



《参考１：札幌市に立地する企業》



《参考２：特定措置区域（石狩振興局管内、小樽市、旭川市）に立地する企業》



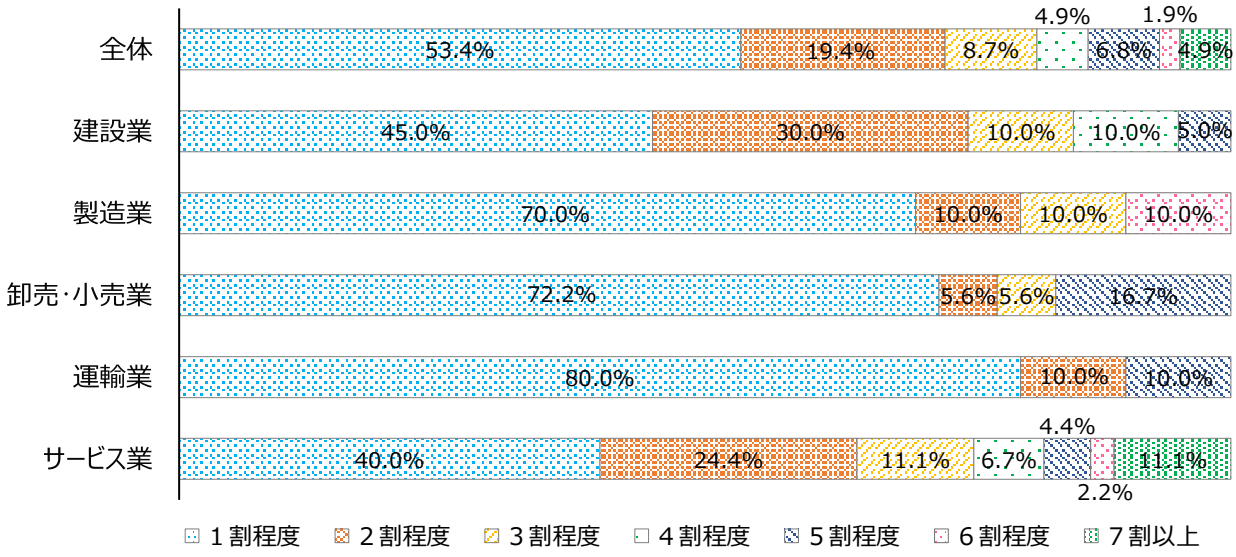
4　テレワークの内容

・実施しているテレワークの内容は、「在宅勤務」が 86.6%、「モバイルワーク」が 9.3%、「サテライト勤務」が 4.1%の順となっている。（複数回答）

5　テレワークを行っている従業員の割合

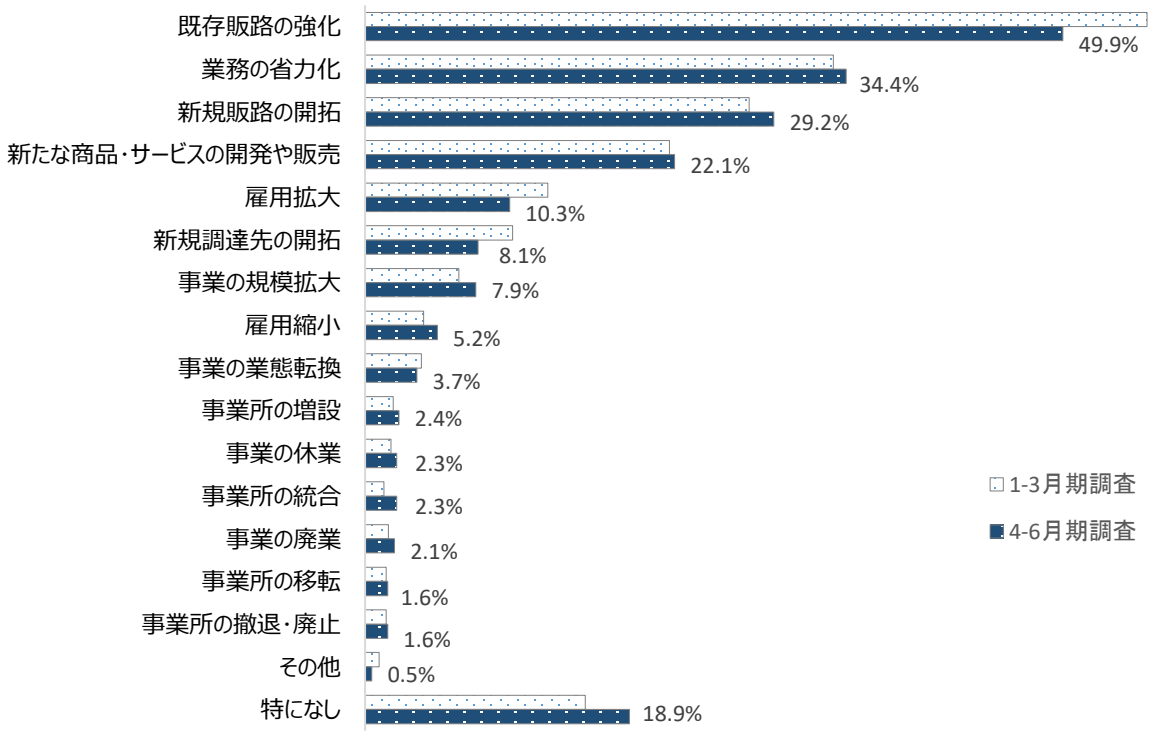
・テレワークを導入している企業において、実際にテレワークを行っている従業員の割合は、「１割程度」が 53.4%と最も多く、次いで「２割程度」が 19.4%となっており、「１割程度」から「３割程度」までの回答が全体の約８割を占めている。

・業種別では、サービス業が他業種に比べて大きな割合となっており、「７割以上」も 11.1%となっている。



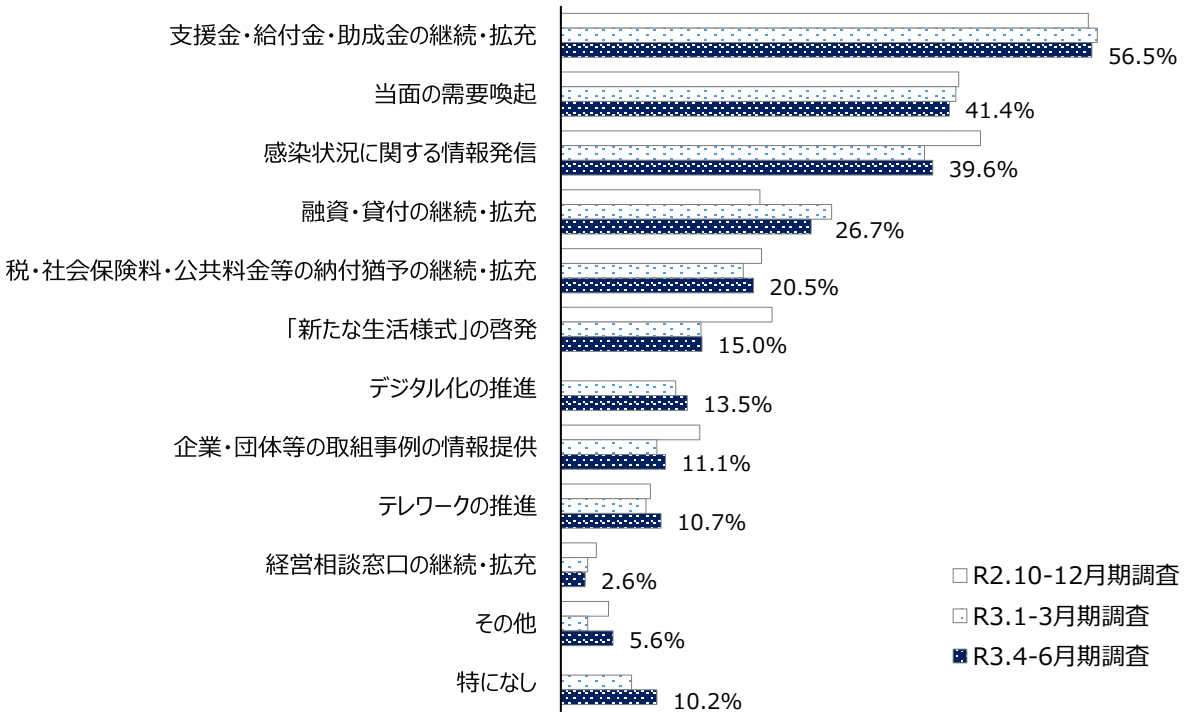
６　今後の事業展開

・今後の事業展開について最も多かった回答は、「既存販路の強化」の 49.9%で、次いで「業務の省力化」が 34.4%、「新規販路の開拓」が 29.2%となっている。（複数回答）



７　行政に期待すること

・行政に期待することについて最も多かった回答は、「支援金・給付金・助成金の継続・拡充」の 56.5%で、次いで「当面の需要喚起」が 41.4%、「感染状況に関する情報発信」が 39.6%となっている。（複数回答）

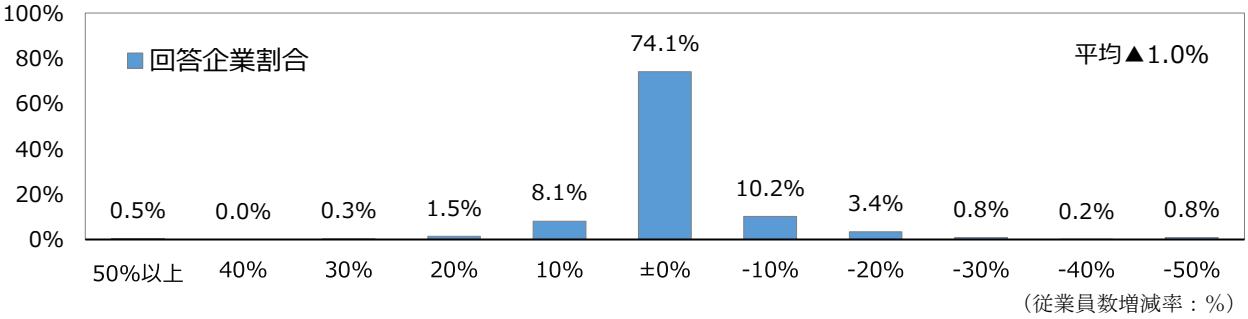


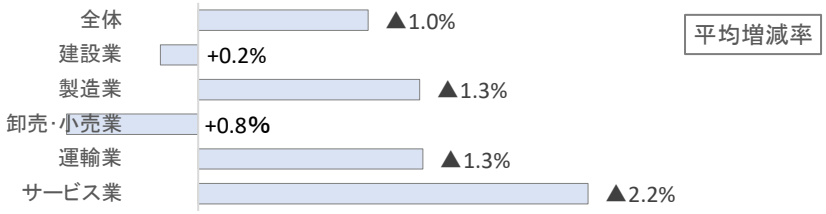
８　従業員数の増減率

（１）正規従業員

・正規従業員数（有給役員、正社員･正職員）の前年同時期（令和２年４－６月期）と比較した増減は、74.1%の企業が増減なしだったものの、全体の平均増減率は▲1.0%となっている。

・業種別では、建設業と卸売・小売業以外の業種で減少しており、サービス業の▲2.2%建設業、製造業の▲1.3%などとなっている。

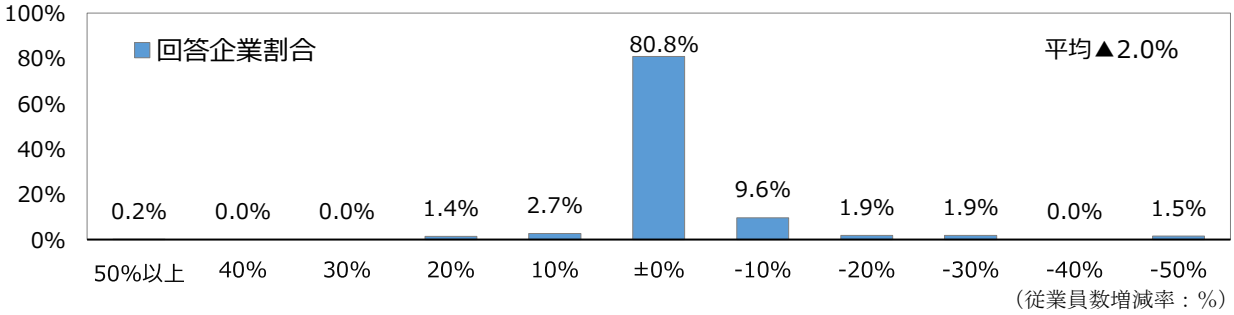


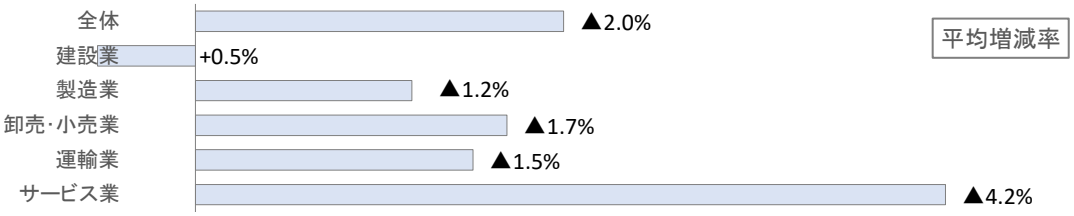


（２）非正規従業員

・非正規従業員数（パート、アルバイト、契約社員）の前年同時期と比較した増減は、80.8%の企業が増減なしだったものの、全体の平均増減率は▲2.0%となっている。

・業種別では、建設業以外の業種で減少しており、サービス業の▲4.2%、卸売・小売業の▲1.7%などとなっている。





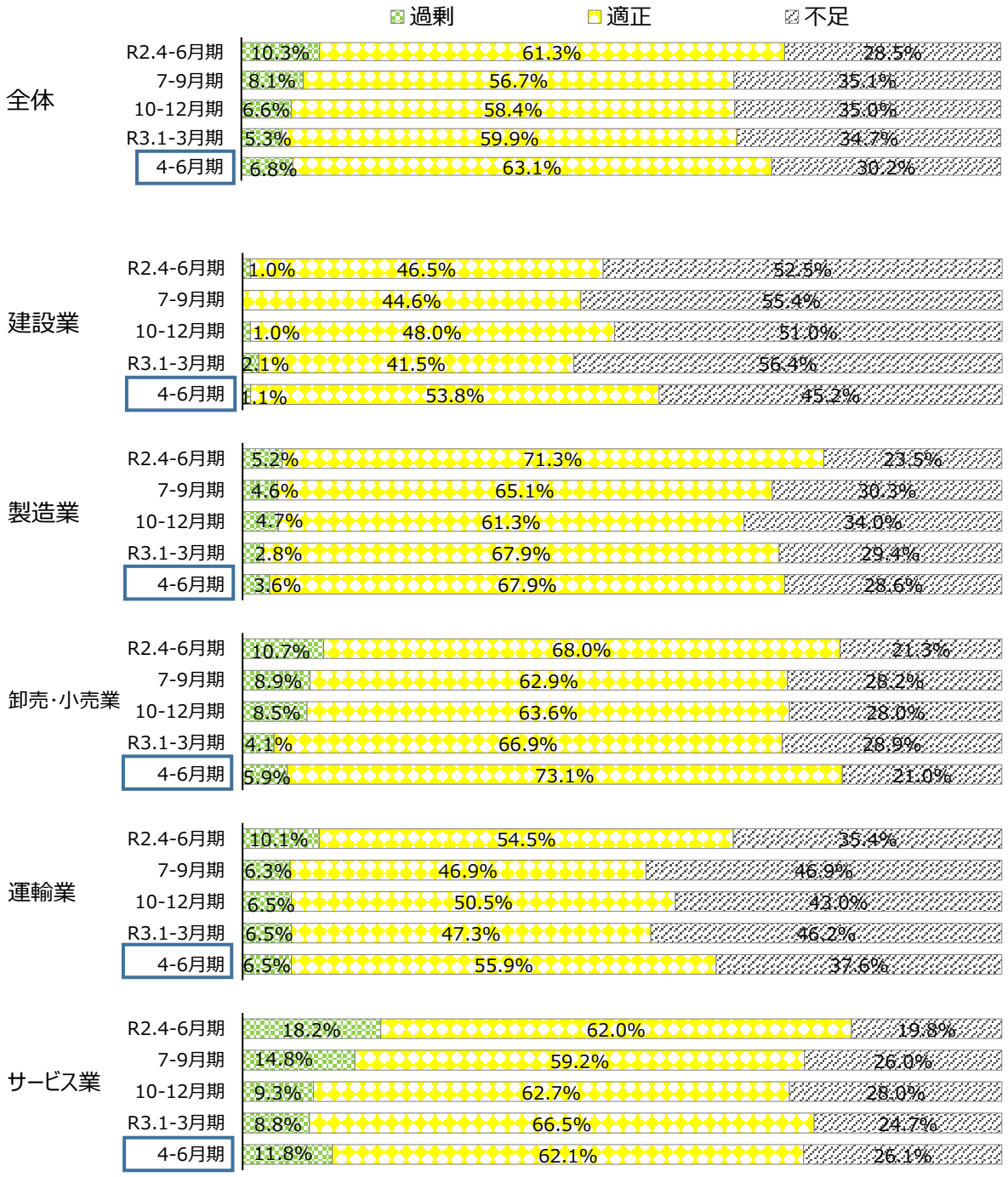
９　正規及び非正規従業員の過不足感

（１）正規従業員

・正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 6.8%、「適正」が 63.1%%、「不足」が 30.2%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

・業種別では、建設業と運輸業の不足感が全体平均より高水準で継続している。

・前回調査との比較では、「不足」の割合が全体では 4.5 ポイント縮小しており、業種別では、建設業、卸売･小売業、運輸業の縮小が大きくなっている。

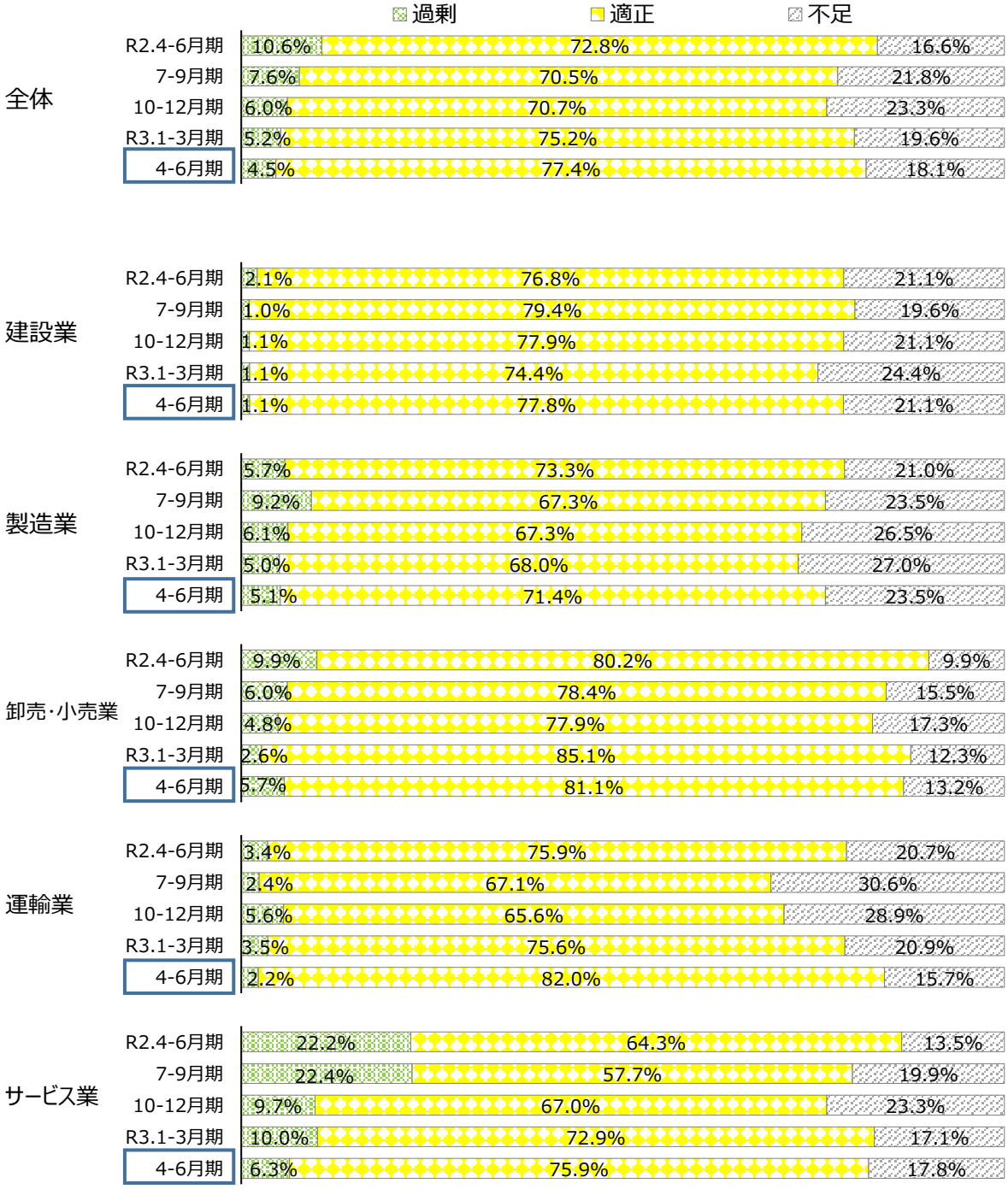


（２）非正規従業員

・非正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 4.5%、「適正」が 77.4%、「不足」が 18.1%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

・業種別では、製造業が 23.5%、建設業の「不足」が 21.1%と大きくなっている。

・前回調査との比較では、全体ではどの項目もほぼ横ばいとなっているが、業種別では、「不足」が運輸業で 5.2 ポイント、製造業で 3.5 ポイント、建設業で 3.3 ポイント縮小している。



4　調査方法

1　調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2　調査時点

令和3年6月30日

3　調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4　調査対象及び回答企業数

区　分		調査対象企業数（A）	回答企業数（B）	回答率（B／A・%）
総　計		**900**	**623**	**69.2**
	札幌市を除く	700	492	70.3
	札幌市	200	131	65.5
業種	建設業	125	93	74.4
	製造業	150	112	74.7
	卸売･小売業	188	119	63.3
	運輸業	131	93	71.0
	サービス業	306	206	67.3
資本金	5千万円未満	617	424	68.7
	5千万以上～1億円未満	157	114	72.6
	1億円以上	126	85	67.5
地域	道南	109	83	76.1
	道央	382	262	68.6
	札幌市を除く	182	131	72.0
	札幌市	200	131	65.5
	道北	132	92	69.7
	オホーツク	89	66	74.2
	十勝	94	63	67.0
	釧路・根室	94	57	60.6

（注）［道南］・・・・・渡島総合振興局、檜山振興局
［道央］・・・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
［道北］・・・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
［オホーツク］・・オホーツク総合振興局
［十勝］・・・・・十勝総合振興局
［釧路・根室］・・釧路総合振興局、根室振興局

5　ＢＳＩ（Business Survey Index）指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各ＢＳＩ指標を次により算出。

ＢＳＩ＝（「上昇」とする企業の割合（%））－（「下降」とする企業の割合（%））
（－100≦ＢＳＩ≦100）

【計算例（企業数：200社）】

業況感について、「上昇」とした企業20社、「横ばい」とした企業120社、「下降」とした企業60社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}}\times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}}\times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感ＢＳＩはマイナス20　　※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第 130 回）

令和 3 年 7 月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
ＴＥＬ011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/bsi.htm